

学校コード F134210109797

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

県立広島大学 生物資源科学部

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

広島県公立大学法人
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名

戦略推進課

職名・氏名

シュニン ハマサキ メグミ
主任 濱崎 恵

電話番号

082-251-9727

(夜間)

082-251-5178

e-mail

puh-saihen@pu-hiroshima.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

生物資源科学部

＜地域資源開発学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	23
4. 既設大学等の状況	25
5. 教員組織の状況	27
6. 附帯事項等に対する履行状況等	44
7. その他全般的事項	46

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

広島県公立大学法人

(2) 大学名

県立広島大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒734-8558

広島県広島市南区宇品東1丁目1番71号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナカムラ ケンイチ) 中村 健一 (平成25年4月)	(スズキ ノリヒコ) 鈴木 典比古 (令和5年4月) (モリナガ ツトム) 森永 力(代行) (令和4年5月) (ツチヤ サダユキ) 主屋 一定之 (令和3年4月)	任期満了によりR3.4.1付で地方独立行政法人法第14条の規定により、法人が行う事務・事業に関して高度な知識・経験する者などの中から、知事が任命する。(3) 一身上の都合によりR4.4.30付で退職。地方独立行政法人法第14条の規定により、法人が行う事務・事業に関して高度な知識・経験する者などの中から、知事が任命する予定。次期理事長が任命されるまでの間、広島県公立大学法人定款第9条第4項の規定に基づき副理事長である県立広島大学森永力学長がR4.5.1付で理事長職務代行者となり理事長の職務を行う(4) 地方独立行政法人法(平成15年法律第118号)第71条の規定により、人格が高潔で学識が優れ、大学における教育研究活動を適切・効果的に運営することができる者の中から、知事が任命する。(R5.4.1付)(5)
学長	(ナカムラ ケンイチ) 中村 健一 (平成25年4月)	(モリナガ ツトム) 森永 力 (令和3年4月)	任期満了によりR3.2.10第3回理事長選考会議にて選出(3)
学部長		(オギタ シンジロウ) 荻田 信二郎 (令和3年4月) (ニシムラ カズユキ) 西村 和之 (令和2年4月)	届出時には学部長が未定であったが、学内規程によりR2.3.4役員会にて決定(2)学内規程により学長が選考し、理事長が任命(3)
学科長等		(バク スウヨン) 朴 壽永 (令和3年4月) (ハラダ ヒロユキ) 原田 浩幸 (令和2年4月)	届出時には学部長が未定であったが、学内規程によりR2.3.4役員会にて決定(2)学内規程により学長が選考し、理事長が任命(3)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
生物資源科学部 地域資源開発学科 学士（地域資源開発学）	農学関係	4年	40人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	160人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率（控除後）	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	40 (-) [2]	人 (-) [-]	40 (-) [2]	人 (-) [-]	40 (-) [2]	人 (-) [-]	40 (-) [2]	人 (-) [-]	1.03倍	-	1.01倍	-	
志願者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	77 (-) [1]	- (-) [-]	138 (-) [1]	- (-) [-]	62 (-) [2]	- (-) [-]	64 (-) [1]	- (-) [-]					
受験者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	70 (-) [1]	- (-) [-]	124 (-) [1]	- (-) [-]	60 (-) [2]	- (-) [-]	62 (-) [1]	- (-) [-]					
合格者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	46 (-) [1]	- (-) [-]	47 (-) [1]	- (-) [-]	45 (-) [2]	- (-) [-]	46 (-) [1]	- (-) [-]					
B 入学者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	42 (-) [1]	- (-) [-]	40 (-) [1]	- (-) [-]	42 (-) [2]	- (-) [-]	41 (-) [0]	- (-) [-]					
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	1.05	-	1.00	-	1.05	-	1.02	-					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	42 [1] (—)	— [—] (—)	40 [1] (—)	— [—] (—)	42 [2] (—)	— [—] (—)	41 [0] (—)	— [—] (—)	
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	41 [1] (—)	— [—] (—)	40 [1] (—)	— [—] (—)	41 [2] (—)	— [—] (—)	
3年次			/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	41 [1] (—)	— [—] (—)	39 [1] (—)
4年次	/						/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)
計			— [—] (—)	— [—] (—)	42 [1] (—)	81 [2] (—)					123 [4] (—)	162 [4] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。**また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は「」書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	42人	1人	平成30年度	—人	—人	
			令和元年度	—人	—人	
			令和2年度	1人	0人	進路変更検討のため(1人)
令和3年度	81人	0人	平成30年度	—人	—人	
			令和元年度	—人	—人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
令和4年度	123人	2人	平成30年度	—人	—人	
			令和元年度	—人	—人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	1人	0人	その他
			令和4年度	1人	0人	転学(進路変更)(1人)
令和5年度	162人	0人	平成30年度	—人	—人	
			令和元年度	—人	—人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	0人	0人	
			令和5年度	0人	0人	
合計		3人		3人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{42} = \boxed{2.38} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{81} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{123} = \boxed{1.62} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{162} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<生物資源科学部 地域資源開発学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
全学共通 教育科目・ 学びスキル・ リテラシー	大学基礎セミナーⅠ	1①	1			4	5	1	1		兼7
	大学基礎セミナーⅡ	1②	1			4	5	1	1		兼7
	ICTリテラシーⅠ	1①	1								兼2
	ICTリテラシーⅡ	1④	1	1							兼2
	英語総合Ⅰ	1①	1								兼4
	英語総合Ⅱ	1②	1								兼4
	英語総合Ⅲ	2③	1								兼4
	英語総合Ⅳ	2④	1								兼4
	英語表現Ⅰ	1③	1								兼2
	英語表現Ⅱ	1④	1								兼2
	英語表現Ⅲ	2①	1								兼2
	英語表現Ⅳ	2②	1								兼2
	中国語Ⅰ	1・2②	1								兼1
	中国語Ⅱ	1・2③	1								兼1
	韓国語Ⅰ	1・2②	1								兼1
	韓国語Ⅱ	1・2③	1								兼1
	ドイツ語Ⅰ	1・2②	1								兼1
	ドイツ語Ⅱ	1・2③	1								兼1
	アカデミック日本語Ⅰ	1・2②	1								兼1
	アカデミック日本語Ⅱ	1・2③	1								兼1
スポーツ実技Ⅰ	1③	1								兼1	
スポーツ実技Ⅱ	2②	1								兼1	
保健体育理論	2④	2								兼1	
小計(23科目)			8	16	0	4	5	1	1	0	兼15
全学共通 教育科目・ 学際知	哲学	1・2・3・4③	2								兼1
	文学	1・2・3・4②	2								兼1
	芸術	1・2・3・4③	2								兼1
	心理学	1・2・3・4④	2								兼1
	社会学	1・2・3・4③	2								兼1
	歴史学	1・2・3・4②	2								兼2
	倫理学	1・2・3・4③	2								兼1
	経済学	1・2・3・4④	2								兼1
	科学史	1・2・3・4③	2				1				
	生命倫理	1・2・3・4②	2								兼2
	基礎数学	1・2・3・4③	2								兼1
	統計入門	1・2・3・4④	2								兼1
	家族社会学	1・2・3・4③	2								兼1
	文化人類学	1・2・3・4②	2								兼1
	日本国憲法	1・2・3・4③	2								兼1
	法学	1・2・3・4②	2								兼1
	食と健康	1・2・3・4④	2								兼1
いのちと科学	1・2・3・4③	2								兼6	
環境と科学	1・2・3・4②	2			1					兼1	
生活に役立つ力学	1・2・3・4③	2								兼1	
地域社会と言語	1・2・3・4④	2								兼1	
小計(21科目)			0	42	0	1	1	0	0	0	兼24
全学共通 教育科目・ 学際知 実務科目	アカデミック・ライティング	1・2③	1			4	5	1	1		兼7
	クリティカル・シンキング	1・2④	1			4	5	1	1		兼7
	プレゼンテーション演習	2・3・4③	1			4	5	1	1		兼7
	小計(3科目)		1	2	0	4	5	1	1	0	兼7

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
全学共通 教育科目・ 学びスキル・ リテラシー	大学基礎セミナーⅠ	1①	1			5	6	1			兼6
	大学基礎セミナーⅡ	1②	1			5	6	1			兼6
	ICTリテラシーⅠ	1①	1								兼3
	ICTリテラシーⅡ	1③	1	1							兼3
	英語総合Ⅰ	1①	1				1				兼2
	英語総合Ⅱ	1②	1				1				兼2
	英語総合Ⅲ	2③	1				1				兼2
	英語総合Ⅳ	2④	1				1				兼2
	英語表現Ⅰ	1③	1								兼2
	英語表現Ⅱ	1④	1								兼2
	英語表現Ⅲ	2①	1								兼2
	英語表現Ⅳ	2②	1								兼2
	中国語Ⅰ	1・2②	1								兼1
	中国語Ⅱ	1・2③	1								兼1
	韓国語Ⅰ	1・2②	1								兼1
	韓国語Ⅱ	1・2③	1								兼1
	ドイツ語Ⅰ	1・2②	1								兼1
	ドイツ語Ⅱ	1・2③	1								兼1
	アカデミック日本語Ⅰ	1・2②	1								兼1
	アカデミック日本語Ⅱ	1・2③	1								兼1
スポーツ実技Ⅰ	1①	1								兼1	
スポーツ実技Ⅱ	2③	1								兼1	
保健体育理論	2④	2								兼1	
小計(23科目)			8	16	0	5	6	1	0	0	兼15
全学共通 教育科目・ 学際知	哲学	1・2・3・4③	2								兼1
	文学	1・2・3・4②	2								兼3
	芸術	1・2・3・4③	2								兼1
	心理学	1・2・3・4④	2								兼1
	社会学	1・2・3・4③	2								兼1
	歴史学	1・2・3・4②	2								兼1
	倫理学	1・2・3・4③	2								兼1
	経済学	1・2・3・4④	2								兼1
	科学史	1・2・3・4③	2				1	2			兼8
	生命倫理	1・2・3・4②	2								兼2
	基礎数学	1・2・3・4③	2								兼1
	統計入門	1・2・3・4④	2								兼1
	家族社会学	1・2・3・4③	2								兼1
	文化人類学	1・2・3・4②	2								兼1
	日本国憲法	1・2・3・4③	2								兼1
	法学	1・2・3・4②	2								兼1
	食と健康	1・2・3・4④	2								兼1
いのちと科学	1・2・3・4③	2								兼2	
環境と科学	1・2・3・4②	2			1					兼1	
生活に役立つ力学	1・2・3・4③	2								兼1	
地域社会と言語	1・2・3・4④	2								兼1	
小計(21科目)			0	42	0	2	2	0	0	0	兼25
全学共通 教育科目・ 学際知 実務科目	アカデミック・ライティング	1③	1			5	6	1			兼6
	クリティカル・シンキング	1・2④	1			5	6	1			兼6
	プレゼンテーション演習	2・3・4④	1			5	6	1			兼6
	小計(3科目)		1	2	0	5	6	1	0		兼6

全学共通教育科目・地域課題	ひろしま理解	2・3・4②	2								兼3
	国際社会の理解	2・3・4③	2								兼1
	地域情報発信論	2・3・4④	2								兼3
	地域教養ゼミナールA	3・4①③	2		4	5	1	1			兼7
	地域教養ゼミナールB	3・4②④	2		4	5	1	1			兼7
小計(5科目)	—	0	10	0	4	5	1	1	0		兼16
全学共通教育科目・キャリア開発	キャリアビジョン(デベロップメント)	2・3・4①	2								兼1
	ライフデザイン	2・3・4②	2								兼3
	ボランティア	2・3・4③	2								兼1
	インターンシップ	2・3・4④	2								兼1
	リーダー論	3・4①	2								兼2
小計(5科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0		兼6
全学共通教育科目・ダイバーシティ	多様性理解(ジェンダー論)	2・3・4①	2								兼1
	人間関係論	2・3・4③	2								兼1
	人権論	2・3・4④	2								兼1
	世界の宗教	2・3・4④	2								兼1
	世界の言語と文化	1・2・3・4④	2								兼1
海外研修	2・3・4①②③④	2								兼1	
小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0		兼5
全学共通教育科目・入門演習	英語入門演習	1①②			1						兼1
	数学入門演習	1①②			1						兼1
	国語入門演習	1①②			1						兼1
	社会入門演習	1①②			1						兼1
	生物入門演習	1①②			1						兼1
	物理入門演習	1①②			1						兼1
	化学入門演習	1①②			1						兼1
小計(7科目)	—	0	0	7	0	0	0	0	0		兼6
専門教育科目・学部共通科目	数学I	1①	2								兼1
	数学II	1②	2								兼1
	統計学	1③	2								兼1
	化学I	1①	2		1						兼1
	化学II	1②	2								兼1
	基礎分析化学	1③	2			1					兼1
	生物学I	1①	2				1				兼2
	生物学II	1②	2								兼2
	無機化学	2④	2		1						兼2
	有機化学	2①	2			1					兼2
	微生物学	2④	2								兼2
	生態学	2②	2		1						兼2
	植物生理学	2①	2			1					兼2
	遺伝学	2③	2								兼2
栄養化学	2④	2			1					兼1	
小計(15科目)	—	16	14	0	2	3	0	1	0		兼8

全学共通教育科目・地域課題	ひろしま理解	2・3・4②	2								兼3
	国際社会の理解	2・3・4③	2								兼1
	地域情報発信論	2・3・4④	2								兼3
	地域教養ゼミナールA	2・3・4①③	2		5	6	1				兼6
	地域教養ゼミナールB	2・3・4②④	2		5	6	1				兼6
小計(5科目)	—	0	10	0	5	6	1	0	0		兼12
全学共通教育科目・キャリア開発	キャリアビジョン(デベロップメント)	2・3・4①	2								兼2
	ライフデザイン	2・3・4②	2								兼3
	ボランティア	2・3・4③	2								兼1
	インターンシップ	2・3・4④	2				1				兼1
	リーダー論	3・4①②	2								兼2
小計(5科目)	—	0	10	0	0	1	0	0	0		兼7
全学共通教育科目・ダイバーシティ	多様性理解(ジェンダー論)	2・3・4③	2								兼1
	人間関係論	2・3・4③	2								兼1
	人権論	2・3・4④	2								兼1
	世界の宗教	2・3・4④	2								兼1
	世界の言語と文化	1・2・3・4④	2				1				兼2
海外研修	2・3・4①②③④	2								兼1	
小計(6科目)	—	0	12	0	1	0	0	0	0		兼5
全学共通教育科目・入門演習	英語入門演習	1①②			1						兼1
	数学入門演習	1①②			1						兼1
	国語入門演習	1①②			1						兼1
	社会入門演習	1①②			1						兼1
	生物入門演習	1①②			1						兼1
	物理入門演習	1①②			1						兼1
	化学入門演習	1①②			1						兼1
小計(7科目)	—	0	0	7	0	0	0	0	0		兼6
専門教育科目・学部共通科目	数学I	1①	2								兼1
	数学II	1②	2								兼1
	統計学	1③	2								兼1
	化学I	1①	2		1						兼1
	化学II	1②	2								兼1
	基礎分析化学	1③	2				1				兼1
	生物学I	1①	2					1			兼2
	生物学II	1②	2								兼2
	無機化学	2④	2		1						兼2
	有機化学	2①	2			1					兼2
	微生物学	2④	2					1			兼2
	生態学	2②	2		1						兼2
	植物生理学	2①	2			1					兼2
	遺伝学	2③	2								兼2
栄養化学	2④	2			1					兼1	
食品資源フィールド科学演習	2・3②	1		2	3					兼6	
小計(16科目)	—	16	15	0	2	4	1	0	0		兼6

専門教育科目・学科基礎科目	作物学	2④		2															兼1
	資源植物学	2③④		2		1				1									
	基礎園芸学	2①	2			1				1									
	植物発生制御学	3①②		2		1													
	食品衛生学	2④		2															兼1
	食品分析学Ⅰ	2②	2					2											
	基礎食品学	2③	2					1											
	食品流通学	2①		2				1											
	農業経営学Ⅰ	1③		2		1													
	農業マーケティング論	2④		2															兼1
	地域商品開発論	2②		2				2											
	農業簿記	3③④		2				1											
	畜産学概論	1③		2				1											兼2
	基礎物理学	1③		2			1	1											
	化学実験	1④	1				1	1											
	生物学実験	1③	1				1		1	1									
	フィールド科学	1③	2				4	4	1	1									
	フィールド科学実習Ⅰ	1①②③④	6				4	4	1	1									
	フィールド科学実習Ⅱ	2①②③④	3				4	4	1	1									
基礎地域資源科学実験	2③④	3				4	4	1	1										
国際異文化農業体験研修	1・2①②③④	6				4	4	1	1										
科学英語	3①②③④	2				4	4	1	1										
小計(22科目)	—		30	22	0	4	5	1	1	0									兼5
専門教育科目・学科基幹科目	農業環境制御学	3①		2			1												
	総合防除管理学	3①		2			1												兼2
	植物組織培養学	3①		2			1												兼1
	植物病理学	3①		2															
	蔬菜園芸学	3②		2			1												
	果樹園芸学	3②	2																1
	次世代農業学	3②		2						1									
	資源科学実験	3①②	2				2	1	1	1									
	食品化学	3①		2				1											
	食品分析学Ⅱ	3①		2				2											
	発酵工学	3③		2			1												
	食品リサイクル学	3④		2			1												
	食品加工学	3②	2					2											
	食品保存学	3③		2															兼1
	機能性食品工学	3④		2				1											
	食品科学実験	3①②	2				1	2											
	農業経営学Ⅱ	3①		2			1												
	フードシステムマネジメント	3②	2																兼1
	国際食料生産論	3③		2				1											
アグリツーリズム論	3②		2															兼1	
農業経営戦略論	3③		2				1												
6次産業政策法律論	3①		2				1												
流通システムとイノベーション	3④		2				1												
地域ブランド(商品開発)実習	3①②	2					1	1											
小計(24科目)	—		12	36	0	4	5	1	1	0									兼5
卒業論文・卒業研究	卒業論文Ⅰ	3①②③④	4				4	4	1	1									
	卒業論文Ⅱ	4①②③④	4				4	4	1	1									
	地域課題解決研究Ⅰ	3①②③④	4				4	5	1	1									兼30
	地域課題解決研究Ⅱ	4①②③④	4				4	5	1	1									兼30
	小計(4科目)	—		16	0	0	4	5	1	1	0								

専門教育科目・学科基礎科目	作物学	2④		2																兼1	
	資源植物学	2③④		2			1			1											
	基礎園芸学	2①	2				1			1											
	植物発生制御学	3①②		2			1														
	食品衛生学	2④		2																兼1	
	食品分析学Ⅰ	2③	2							2											
	基礎食品学	2②	2																		
	食品流通学	2①		2																	
	農業経営学Ⅰ	2②	2							1											
	農業マーケティング論	2③		2																兼1	
	地域商品開発論	2①②		2									2								
	農業簿記	3③④		2																	
	畜産学概論	2③		2																兼2	
	基礎物理学	1③		2				1	1												
	化学実験	1④	1							1	1										
	生物学実験	1③	1							1		1									
	フィールド科学	1③	2					4	4		6										
	フィールド科学実習Ⅰ	1①②③④	6					4	4		6									兼4	
	フィールド科学実習Ⅱ	2①②③④	3					4	4		6										
基礎地域資源科学実験	2③④	3					4	4		6											
国際異文化農業体験研修	1・2①②③④	6					4	4		6											
科学英語	3①②③④	2					4	4		6									1		
小計(22科目)	—		32	20	0	4	6	1	0	0										兼7	
専門教育科目・学科基幹科目	農業環境制御学	3①		2				1													
	総合防除管理学	3①		2				1												兼2	
	植物組織培養学	3①		2				1												兼1	
	植物病理学	3①		2																	
	蔬菜園芸学	3②		2				1													
	果樹園芸学	3②	2																	1	
	次世代農業学	3②		2																1	
	資源科学実験	3①②	2					2	1	1										2	
	食品化学	3①		2																1	
	食品分析学Ⅱ	3①		2																2	
	発酵工学	3③		2				1													
	食品リサイクル学	3④		2				1													
	食品加工学	3②	2																	3	
	食品保存学	3③		2																1	
	機能性食品工学	3④		2																1	
	食品科学実験	3①②	2					1	2											3	
	農業経営学Ⅱ	3①		2				1													
	フードシステムマネジメント	3②	2																		兼1
	国際食料生産論	3③		2																	1
アグリツーリズム論	3②		2																	兼1	
農業経営戦略論	3③		2																	1	
6次産業政策法律論	3①		2																	1	
流通システムとイノベーション	3④		2																	1	
地域ブランド(商品開発)実習	3①②	2																		1	
小計(24科目)	—		12	36	0	4	6	1	0	0				</							

専門教育科目・生命環境学科開講科目	生理学	2③		2								兼1
	分子生物学	2③		2								兼1
	生命環境リスク学	2③		2								兼2
	生物反応速度論	2④		2								兼1
	免疫学	2③		2								兼1
	細胞生物学	2④		2								兼1
	生体機構学	2④		2								兼1
	環境社会科学	2③		2								兼1
	環境衛生学	2③		2								兼1
	環境・無機分析化学	2④		2								兼2
機器分析化学	2④		2								兼2	
小計 (11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	兼11
その他科目 (卒業要件外)	職業指導	2③④			2							兼1
	農業科教育法 I	3①②			2							兼1
	農業科教育法 II	3③④			2							兼1
	教育学概論	1③④			2							兼1
	教職入門	1③④			2							兼1
	教育社会学	2①②			2							兼1
	教育心理学	2①②			2							兼1
	特別支援教育	3①②			1							兼1
	教育課程論	2①②			2							兼1
	総合的な学習の時間の指導法	3①②			2							兼1
	特別活動論	3③④			2							兼1
	教育方法学	3③④			2							兼1
	生徒・進路指導論	2③④			2							兼1
	教育相談	3①②			2							兼1
	教育実習指導	4①②③④			1							兼2
教育実習 I	4①②③④			2							兼2	
教職実践演習 (中・高)	4③④			2							兼1	
道德教育論	3①②			2							兼1	
介護等体験	3①②③④			2							兼1	
小計 (19科目)	—	0	0	36	0	0	0	0	0	0	0	兼8
合計 (165科目)	—	83	186	43	4	5	1	1	0	0	0	兼72
卒業要件及び履修方法												
全学共通「学びスキル・リテラシー」から14単位以上、「学際知」から8単位以上、「論理思考表現」から2単位以上、「地域課題」から4単位以上、「キャリア開発」から4単位以上、「ダイバーシティ」から4単位以上、学部共通科目から16単位以上、学科専門基礎科目から38単位以上（農産系、食品系、マネジメント系の科目からそれぞれ4単位以上、かつ、その他科目から26単位以上）、学科専門基幹科目から26単位以上（選択系から10単位以上、かつ、他系科目からそれぞれ8単位以上）を、「卒業論文・地域課題解決研究」から8単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修上限単位数：年間48単位)												

専門教育科目・生命環境学科開講科目	生理学	2①②		2								兼1
	分子生物学	2②		2								兼1
	生命環境リスク学	2③		2								兼2
	生物反応速度論	2④		2								兼1
	免疫学	2③		2								兼1
	細胞生物学	2④		2								兼1
	生体機構学	2③④		2								兼1
	環境社会科学	2④		2								兼1
	環境衛生学	2③		2								兼1
	環境・無機分析化学	2④		2								兼2
機器分析化学	2③		2								兼2	
小計 (11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	兼10
その他科目 (卒業要件外)	職業指導	2③④			2							兼1
	農業科教育法 I	3①②			2							兼1
	農業科教育法 II	3③④			2							兼1
	教育学概論	1④			2							兼1
	教職入門	1③			2							兼1
	教育社会学	2①			2							兼1
	教育心理学	2②			2							兼1
	特別支援教育	3①②			1							兼1
	教育課程論	2①②			2							兼1
	総合的な学習の時間の指導法	3①②			2							兼1
	特別活動論	3③④			2							兼1
	教育方法学	3③			2							兼1
	生徒・進路指導論	2③④			2							兼2
	教育相談	3①②			2							兼1
	教育実習指導	4①②③④			1							兼2
教育実習 I	4①②③④			2							兼2	
教職実践演習 (中・高)	4②③④			2							兼1	
道德教育論	3①②			2							兼1	
介護等体験	3①②③④			2							兼1	
小計 (19科目)	—	0	0	36	0	0	0	0	0	0	0	兼10
合計 (166科目)	—	85	185	43	5	6	1	0	0	0	0	兼73
卒業要件及び履修方法												
全学共通「学びスキル・リテラシー」から14単位以上、「学際知」から8単位以上、「論理思考表現」から2単位以上、「地域課題」から4単位以上、「キャリア開発」から4単位以上、「ダイバーシティ」から4単位以上、学部共通科目から16単位以上、学科専門基礎科目から38単位以上（農産系、食品系、マネジメント系の科目からそれぞれ4単位以上、かつ、その他科目から26単位以上）、学科専門基幹科目から26単位以上（選択系から10単位以上、かつ、他系科目からそれぞれ8単位以上）を、「卒業論文・地域課題解決研究」から8単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修上限単位数：年間48単位)												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・ 兼担
			1	2	3	4	1	2	3	4	
全学共通教育科目・ 学びスキル・リテラシー	大学基礎セミナーⅠ	1①	1			5	6	1			兼6
	大学基礎セミナーⅡ	1②	1			5	6	1			兼6
	ICTリテラシーⅠ	1①	1								兼2
	ICTリテラシーⅡ	1③		1							兼2
	英語総合Ⅰ	1①	1			1					兼2
	英語総合Ⅱ	1②	1			1					兼2
	英語総合Ⅲ	2③		1		1					兼2
	英語総合Ⅳ	2④		1		1					兼2
	英語表現Ⅰ	1③	1								兼2
	英語表現Ⅱ	1④	1								兼2
	英語表現Ⅲ	2①		1							兼2
	英語表現Ⅳ	2②		1							兼2
	中国語Ⅰ	1・2②		1							兼1
	中国語Ⅱ	1・2③		1							兼1
	韓国語Ⅰ	1・2②		1							兼1
	韓国語Ⅱ	1・2③		1							兼1
	ドイツ語Ⅰ	1・2②		1							兼1
	ドイツ語Ⅱ	1・2③		1							兼1
	アカデミック日本語Ⅰ	1・2②		1							兼1
	アカデミック日本語Ⅱ	1・2③		1							兼1
スポーツ実技Ⅰ	1①	1								兼1	
スポーツ実技Ⅱ	2③		1							兼1	
保健体育理論	2④		2							兼1	
小計(23科目)			8	16	0	5	6	1	0	0	兼13
全学共通教育科目・ 学際知	哲学	1・2・3・4③	2								兼1
	文学	1・2・3・4②	2								兼3
	芸術	1・2・3・4③	2								兼1
	心理学	1・2・3・4④	2								兼1
	社会学	1・2・3・4③	2								兼1
	歴史学	1・2・3・4②	2								兼1
	倫理学	1・2・3・4③	2								兼1
	経済学	1・2・3・4④	2								兼1
	科学史	1・2・3・4③	2			1	2				兼8
	生命倫理	1・2・3・4②	2								兼2
	基礎数学	1・2・3・4③	2								兼1
	統計入門	1・2・3・4④	2								兼1
	家族社会学	1・2・3・4④	2								兼1
	文化人類学	1・2・3・4②	2								兼1
	日本国憲法	1・2・3・4②	2								兼1
	法学	1・2・3・4③	2								兼1
食と健康	1・2・3・4③	2								兼1	
いのちと科学	1・2・3・4③	2								兼2	
環境と科学	1・2・3・4②	2			1					兼1	
生活に役立つ力学	1・2・3・4③	2								兼1	
地域社会と言語	1・2・3・4④	2								兼1	
小計(21科目)		—	0	42	0	2	2	0	0	0	兼26
全学共通教育科目・ 学際知	アカデミック・ライティング	1③	1			5	6	1			兼6
	クリティカル・シンキング	1・2④	1			5	6	1			兼6
	プレゼンテーション演習	2・3・4③③	1			5	6	1			兼6
	小計(3科目)		—	1	2	0	5	6	1	0	0
全学共通教育科目・ 地域課題	ひろしま理解	2・3・4②	2								兼3
	国際社会の理解	2・3・4③	2								兼1
	地域情報発信論	2・3・4②	2								兼4
	地域教養ゼミナールA	2・3・4④④	2			5	5	1	1		兼6
	地域教養ゼミナールB	2・3・4④④	2			5	5	1	1		兼6
小計(5科目)		—	0	10	0	5	5	1	1	0	兼13

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・ 兼担
			1	2	3	4	1	2	3	4	
全学共通教育科目・ 学びスキル・リテラシー	大学基礎セミナーⅠ	1①	1			5	5	1	1		兼6
	大学基礎セミナーⅡ	1②	1			5	5	1	1		兼6
	ICTリテラシーⅠ	1①	1								兼2
	ICTリテラシーⅡ	1④		1							兼2
	英語総合Ⅰ	1①	1			1					兼2
	英語総合Ⅱ	1②	1			1					兼2
	英語総合Ⅲ	2③		1		1					兼2
	英語総合Ⅳ	2④		1		1					兼2
	英語表現Ⅰ	1③	1								兼2
	英語表現Ⅱ	1④	1								兼2
	英語表現Ⅲ	2①		1							兼2
	英語表現Ⅳ	2②		1							兼2
	中国語Ⅰ	1・2②		1							兼1
	中国語Ⅱ	1・2③		1							兼1
	韓国語Ⅰ	1・2②		1							兼1
	韓国語Ⅱ	1・2③		1							兼1
	ドイツ語Ⅰ	1・2②		1							兼1
	ドイツ語Ⅱ	1・2③		1							兼1
	アカデミック日本語Ⅰ	1・2②		1							兼1
	アカデミック日本語Ⅱ	1・2③		1							兼1
スポーツ実技Ⅰ	1①	1								兼1	
スポーツ実技Ⅱ	2③		1							兼1	
保健体育理論	2④		2							兼1	
小計(23科目)			8	16	0	5	5	1	1	0	兼13
全学共通教育科目・ 学際知	哲学	1・2・3・4③	2								兼1
	文学	1・2・3・4②	2								兼3
	芸術	1・2・3・4③	2								兼1
	心理学	1・2・3・4④	2								兼1
	社会学	1・2・3・4③	2								兼1
	歴史学	1・2・3・4②	2								兼1
	倫理学	1・2・3・4③	2								兼1
	経済学	1・2・3・4④	2								兼1
	科学史	1・2・3・4③	2			1	2				兼8
	生命倫理	1・2・3・4②	2								兼2
	基礎数学	1・2・3・4③	2								兼1
	統計入門	1・2・3・4④	2								兼1
	家族社会学	1・2・3・4④	2								兼1
	文化人類学	1・2・3・4②	2								兼1
	日本国憲法	1・2・3・4②	2								兼1
	法学	1・2・3・4③	2								兼1
食と健康	1・2・3・4③	2								兼1	
いのちと科学	1・2・3・4③	2								兼3	
環境と科学	1・2・3・4②	2			1					兼1	
生活に役立つ力学	1・2・3・4③	2								兼3	
地域社会と言語	1・2・3・4④	2								兼1	
小計(21科目)		—	0	42	0	2	2	0	0	0	兼29
全学共通教育科目・ 学際知	アカデミック・ライティング	1③	1			5	5	1	1		兼6
	クリティカル・シンキング	1・2④	1			5	5	1	1		兼6
	プレゼンテーション演習	2・3・4③③	1			5	5	1	1		兼6
	小計(3科目)		—	1	2	0	5	5	1	1	0
全学共通教育科目・ 地域課題	ひろしま理解	2・3・4②	2								兼3
	国際社会の理解	2・3・4③	2								兼1
	地域情報発信論	2・3・4②	2								兼4
	地域教養ゼミナールA	2・3・4④④	2			5	6	1			兼6
	地域教養ゼミナールB	2・3・4④④	2			5	6	1			兼6
小計(5科目)		—	0	10	0	5	6	1	0	0	兼13

全学共通教育科目・キャリア開発	キャリアビジョン(デベロップメント)	2・3・4①	2																	兼2
	ライフデザイン	2・3・4②	2																	兼3
	ボランティア	2・3・4③	2																	兼1
	インターンシップ	2・3・4④	2					1												兼1
	リーダー論	3・4①②	2																	兼2
小計(5科目)	—	0	10	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼7	
全学共通教育科目・ダイバーシティ教育	多様性理解(ジェンダー論)	2・3・4③	2																	兼1
	人間関係論	2・3・4③	2																	兼1
	人権論	2・3・4④	2																	兼1
	世界の宗教	2・3・4④	2																	兼1
	世界の言語と文化	1・2・3・4④	2																	兼1
	海外研修	2・3・4③④	2																	兼1
小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼5	
全学共通教育科目・入門演習	英語入門演習	1①②			1															兼1
	数学入門演習	1①②			1															兼1
	国語入門演習	1①②			1															兼1
	社会入門演習	1①②			1															兼1
	生物入門演習	1①②			1															兼1
	物理入門演習	1①②			1															兼1
	化学入門演習	1①②			1															兼1
	小計(7科目)	—	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼6
専門教育科目・学部共通科目	数学Ⅰ	1①	2																	兼1
	数学Ⅱ	1②	2																	兼1
	統計学	1③	2																	兼1
	化学Ⅰ	1①	2			1														兼1
	化学Ⅱ	1②	2																	兼1
	基礎分析化学	1③	2				1													兼2
	生物学Ⅰ	1①	2					1												兼2
	生物学Ⅱ	1②	2																	兼2
	無機化学	2④	2			1														兼2
	有機化学	2①	2				1													兼2
	微生物学	2②	2					1												兼2
	生態学	2②	2			1														兼2
	植物生理学	2①	2			1														兼2
	遺伝学	2③	2																	兼2
	栄養化学	2④	2				1													兼1
食品資源フィールド科学演習	2・3②	1			2	3													兼5	
小計(16科目)	—	16	15	0	2	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼5	

全学共通教育科目・キャリア開発	キャリアビジョン(デベロップメント)	2・3・4①	2																	兼2
	ライフデザイン	2・3・4②	2																	兼3
	ボランティア	2・3・4③	2																	兼1
	インターンシップ	2・3・4④	2					1												兼1
	リーダー論	3・4①	2																	兼2
小計(5科目)	—	0	10	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼7	
全学共通教育科目・ダイバーシティ教育	多様性理解(ジェンダー論)	2・3・4③	2																	兼1
	人間関係論	2・3・4③	2																	兼1
	人権論	2・3・4④	2																	兼1
	世界の宗教	2・3・4④	2																	兼1
	世界の言語と文化	1・2・3・4④	2																	兼1
	海外研修	2・3・4③④	2																	兼1
小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼5	
全学共通教育科目・入門演習	英語入門演習	1①②			1															兼1
	数学入門演習	1①②			1															兼1
	国語入門演習	1①②			1															兼1
	社会入門演習	1①②			1															兼1
	生物入門演習	1①②			1															兼1
	物理入門演習	1①②			1															兼1
	化学入門演習	1①②			1															兼1
	小計(7科目)	—	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼6
専門教育科目・学部共通科目	数学Ⅰ	1①	2																	兼1
	数学Ⅱ	1②	2																	兼1
	統計学	1③	2																	兼1
	化学Ⅰ	1①	2			1														兼1
	化学Ⅱ	1②	2																	兼1
	基礎分析化学	1③	2				1													兼2
	生物学Ⅰ	1①	2					1												兼2
	生物学Ⅱ	1②	2																	兼2
	無機化学	2④	2			1														兼2
	有機化学	2①	2				1													兼2
	微生物学	2②	2					1												兼2
	生態学	2②	2			1														兼2
	植物生理学	2①	2			1														兼2
	遺伝学	2③	2																	兼2
	栄養化学	2④	2				1													兼1
食品資源フィールド科学演習	2・3②	1			2	3													兼6	
小計(16科目)	—	16	15	0	2	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼6	

科開講科目	環境衛生学	2③		2															兼1
	環境・無機分析化学	2④		2															兼2
	機器分析化学	2③		2															兼2
	小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼10
その他科目(卒業要件外)	職業指導	2③④			2														兼1
	農業科教育法Ⅰ	3①②			2														兼1
	農業科教育法Ⅱ	3③④			2														兼1
	教育学概論	1④			2														兼1
	教職入門	1③			2														兼1
	教育社会学	2①			2														兼1
	教育心理学	2②			2														兼1
	特別支援教育	3①②			1														兼1
	教育課程論	2①②			2														兼1
	総合的な学習の時間の指導法	3①②			2														兼1
	特別活動論	3③④			2														兼1
	教育方法学	3③			2														兼1
	生徒・進路指導論	2③④			2														兼2
	教育相談	3①②			2														兼1
	教育実習指導	4①②③④			1														兼2
	教育実習Ⅰ	4①②③④			2														兼2
	教職実践演習(中・高)	4①②③④			2														兼1
	道德教育論	3①②			2														兼1
	介護等体験	3①②③④			2														兼1
小計(19科目)	—	0	0	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼10	
合計(166科目)		—	85	185	43	5	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼74	
卒業要件及び履修方法																			
全学共通「学びスキル・リテラシー」から14単位以上、「学際知」から8単位以上、「論 理思考表現」から2単位以上、「地域課題」から4単位以上、「キャリア開発」から4単位 以上、「ダイバーシティ」から4単位以上、学部共通科目から16単位以上、学科専門基礎 科目から38単位以上(農産系、食品系、マネジメント系の科目からそれぞれ4単位以上、 かつ、その他科目から26単位以上)、学科専門基礎科目から26単位以上(選択系から10 単位以上、かつ、他系科目からそれぞれ8単位以上)を、「卒業論文・地域課題解決研 究」から8単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修上限単位数:年間48単位)																			

科開講科目	環境衛生学	2③		2															兼1
	環境・無機分析化学	2④		2															兼2
	機器分析化学	2③		2															兼2
	小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼10
その他科目(卒業要件外)	職業指導	2③④			2														兼1
	農業科教育法Ⅰ	3①②			2														兼1
	農業科教育法Ⅱ	3③④			2														兼1
	教育学概論	1④			2														兼1
	教職入門	1③			2														兼1
	教育社会学	2①			2														兼1
	教育心理学	2②			2														兼1
	特別支援教育	3①②			1														兼1
	教育課程論	2①②			2														兼1
	総合的な学習の時間の指導法	3①②			2														兼1
	特別活動論	3③④			2														兼1
	教育方法学	3③④			2														兼1
	生徒・進路指導論	2③④			2														兼2
	教育相談	3①			2														兼1
	教育実習指導	4①②③④			1														兼2
	教育実習Ⅰ	4①②③④			2														兼2
	教職実践演習(中・高)	4①②③④			2														兼1
	道德教育論	3①②			2														兼1
	介護等体験	3①②③④			2														兼1
小計(19科目)	—	0	0	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼10	
合計(166科目)		—	85	185	43	5	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	兼78	
卒業要件及び履修方法																			
全学共通「学びスキル・リテラシー」から14単位以上、「学際知」から8単位以上、「論 理思考表現」から2単位以上、「地域課題」から4単位以上、「キャリア開発」から4単位 以上、「ダイバーシティ」から4単位以上、学部共通科目から16単位以上、学科専門基礎 科目から38単位以上(農産系、食品系、マネジメント系の科目からそれぞれ4単位以上、 かつ、その他科目から26単位以上)、学科専門基礎科目から26単位以上(選択系から10 単位以上、かつ、他系科目からそれぞれ8単位以上)を、「卒業論文・地域課題解決研 究」から8単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修上限単位数:年間48単位)																			

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			1	2	3	※1	※2	※3	※4	※5		
全学共通教育科目・学びスキル・リテラシー	大学基礎セミナーⅠ	1①	1			5	5	1	1			兼6
	大学基礎セミナーⅡ	1②	1			5	5	1	1			兼6
	ICTリテラシーⅠ	1①	1									兼3
	ICTリテラシーⅡ	1④	1	1								兼3
	英語総合Ⅰ	1①	1			1						兼3
	英語総合Ⅱ	1②	1			1						兼3
	英語総合Ⅲ	2③	1			1						兼3
	英語総合Ⅳ	2④	1			1						兼3
	英語表現Ⅰ	1③	1									兼2
	英語表現Ⅱ	1④	1									兼2
	英語表現Ⅲ	2①	1									兼2
	英語表現Ⅳ	2②	1									兼2
	中国語Ⅰ	1・2②	1									兼1
	中国語Ⅱ	1・2③	1									兼1
	韓国語Ⅰ	1・2②	1									兼1
	韓国語Ⅱ	1・2③	1									兼1
	ドイツ語Ⅰ	1・2②	1									兼1
	ドイツ語Ⅱ	1・2③	1									兼1
	アカデミック日本語Ⅰ	1・2②	1									兼1
	アカデミック日本語Ⅱ	1・2③	1									兼1
	スポーツ実技Ⅰ	1③	1									兼1
	スポーツ実技Ⅱ	2②	1									兼1
	保健体育理論	2④	2									兼1
小計(23科目)			8	16	0	5	5	1	1	0		兼15
	哲学	1・2・3・4③		2								兼1
	文学	1・2・3・4②		2								兼3
	芸術	1・2・3・4③		2								兼1
	心理学	1・2・3・4④		2								兼1
	社会学	1・2・3・4③		2								兼1
	歴史学	1・2・3・4②		2								兼1

全学共通教育科目・学際知	倫理学	1・2・3・4③	2							兼1	
	経済学	1・2・3・4④	2							兼1	
	科学史	1・2・3・4③	2		1	2				兼7	
	生命倫理	1・2・3・4②	2							兼2	
	基礎数学	1・2・3・4③	2							兼1	
	統計入門	1・2・3・4④	2							兼1	
	家族社会学	1・2・3・4③	2							兼1	
	文化人類学	1・2・3・4②	2							兼1	
	日本国憲法	1②	2							兼1	
	法学	1・2・3・4②	2							兼1	
	食と健康	1・2・3・4④	2							兼1	
	いのちと科学	1・2・3・4③	2							兼3	
	環境と科学	1・2・3・4②	2		1					兼1	
	生活に役立つ力学	1・2・3・4③	2							兼3	
地域社会と言語	1・2・3・4④	2							兼1		
小計 (21科目)	—	0	42	0	2	2	0	0	0	兼28	
全学共通教育科目・全学共通教育科目・学際知	アカデミック・ライティング	1③	1			5	5	1	1		兼6
	クリティカル・シンキング	1・2④	1			5	5	1	1		兼6
	プレゼンテーション演習	2・3・4③③	1			5	5	1	1		兼6
	小計 (3科目)	—	1	2	0	5	5	1	1	0	兼6
全学共通教育科目・地域課題	ひろしま理解	2・3・4②	2								兼3
	国際社会の理解	2・3・4③	2								兼1
	地域情報発信論	2・3・4④	2								兼3
	地域教養ゼミナールA	3・4①③	2		5	5	1	1			兼6
	地域教養ゼミナールB	3・4②④	2		5	5	1	1			兼6
小計 (5科目)	—	0	10	0	5	5	1	1	0	兼12	
全学共通教育科目・キャリア開発	キャリアビジョン (デベロップメント)	2・3・4①	2								兼1
	ライフデザイン	2・3・4②	2								兼3
	ボランティア	2・3・4③	2								兼1
	インターンシップ	2・3・4④	2								兼1
	リーダー論	3・4①	2								兼2
小計 (5科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	兼6	
全学共通教育科目・ダイバーシティ	多様性理解 (ジェンダー論)	2・3・4①	2								兼1
	人間関係論	2・3・4③	2								兼1
	人権論	2・3・4④	2								兼1
	世界の宗教	2・3・4④	2								兼1
	世界の言語と文化	1・2・3・4④	2								兼1
	海外研修	2・3・4①②③④	2								兼1
小計 (6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼5	
全学共通教育科目・入門演習	英語入門演習	1①②		1							兼1
	数学入門演習	1①②		1							兼1
	国語入門演習	1①②		1							兼1
	社会入門演習	1①②		1							兼1
	生物入門演習	1①②		1							兼1
	物理入門演習	1①②		1							兼1
	化学入門演習	1①②		1							兼1
小計 (7科目)	—	0	0	7	0	0	0	0	0	兼6	
専門教育科目・学部共通科目	数学 I	1①	2								兼1
	数学 II	1②	2								兼1
	統計学	1③	2								兼1
	化学 I	1①	2		1						
	化学 II	1②	2								兼1
	基礎分析化学	1③	2			1					
	生物学 I	1①	2					1			
	生物学 II	1②	2								兼2
	無機化学	2④	2		1						
	有機化学	2①	2			1					
	微生物学	2④	2			1					
	生態学	2②	2		1						
	植物生理学	2①	2		1						
遺伝学	2③	2								兼2	

	栄養化学	2④		2			1						兼1
	小計 (15科目)	—	16	14	0	2	3	0	1	0			兼6
専門教育科目・学科基礎科目	作物学	2④		2									兼1
	資源植物学	2③④		2		1			1				
	基礎園芸学	2①	2			1			1				
	植物発生制御学	3①②		2		1							
	食品衛生学	2④		2			1						
	食品分析学Ⅰ	2②	2				2						
	基礎食品学	2③	2				1						
	食品流通学	2①		2			1						
	農業経営学Ⅰ	2③	2			1							
	農業マーケティング論	2④		2									兼1
	地域商品開発論	2②		2			2						
	農業簿記	3③④		2			1						
	畜産学概論	2③		2			1						兼2
	基礎物理学	1④		2		1	1						
	化学実験	1④	1			1	1						
	生物学実験	1③	1			1		1	1				
	フィールド科学	1③	2			4	5	1	1				
	フィールド科学実習Ⅰ	1①②③④	6			4	5	1	1				兼4
	フィールド科学実習Ⅱ	2①②③④	3			4	5	1	1				
	基礎地域資源科学実験	2③④	3			4	5	1	1				
国際異文化農業体験研修	1・2①②③④	6			4	5	1	1					
科学英語	3①②③④	2			4	5	1	1					
小計 (22科目)	—	32	20	0	4	5	1	1	0			兼7	
専門教育科目・学科基礎科目	農業環境制御学	3①		2			1						
	総合防除管理学	3①		2		1							兼2
	植物組織培養学	3①		2		1							兼1
	植物病理学	3①		2									
	蔬菜園芸学	3②		2		1							
	果樹園芸学	3②	2						1				
	次世代農業学	3②		2					1				
	資源科学実験	3①②	2			2	1	1	1				
	食品化学	3①		2			1						
	食品分析学Ⅱ	3①		2			2						
	発酵工学	3③		2		1							
	食品リサイクル学	3④		2		1							
	食品加工学	3②	2				3						
	食品保存学	3③		2			1						
	機能性食品工学	3④		2			1						
	食品科学実験	3①②	2			1	3						
	農業経営学Ⅱ	3①		2		1							
	フードシステムマネジメント	3②	2										兼1
	国際食料生産論	3③		2			1						
	アグリツーリズム論	3②		2									兼1
	農業経営戦略論	3③		2		1							
	6次産業政策法律論	3①		2		1							
	流通システムとイノベーション	3④		2		1							
	地域ブランド(商品開発)実習	3①②	2			1	1						
小計 (24科目)	—	12	36	0	4	5	1	1	0			兼4	
卒業論文・卒業科目研究	卒業論文Ⅰ	3①②③④	4			4	5	1	1				
	卒業論文Ⅱ	4①②③④	4			4	5	1	1				
	地域課題解決研究Ⅰ	3①②③④	4			5	5	1	1				兼32
	地域課題解決研究Ⅱ	4①②③④	4			5	5	1	1				兼32
	小計 (4科目)	—	16	0	0	5	5	1	1	0			兼32
専門教育科目・	生理学	2③		2									兼1
	分子生物学	2③		2									兼1
	生命環境リスク学	2③		2									兼2
	生物反応速度論	2④		2									兼1
	免疫学	2③		2									兼1

生命環境学科開講科目	細胞生物学	2④		2							兼1
	生体機構学	2④		2							兼1
	環境社会科学	2③		2							兼1
	環境衛生学	2③		2							兼1
	環境・無機分析化学	2④		2							兼2
	機器分析化学	2④		2							兼2
小計（11科目）		—	0	22	0	0	0	0	0	0	兼10
その他科目（卒業要件外）	職業指導	2③④		2							兼1
	農業科教育法Ⅰ	3①②		2							兼1
	農業科教育法Ⅱ	3③④		2							兼1
	教育学概論	1③④		2							兼1
	教職入門	1③④		2							兼1
	教育社会学	2①②		2							兼1
	教育心理学	2①②		2							兼1
	特別支援教育	3①②		1							兼1
	教育課程論	2①②		2							兼1
	総合的な学習の時間の指導法	3①②		2							兼1
	特別活動論	3③④		2							兼1
	教育方法学	3③④		2							兼1
	生徒・進路指導論	2③④		2							兼2
	教育相談	3①②		2							兼1
	教育実習指導	4①②③④		1							兼2
	教育実習Ⅰ	4①②③④		2							兼2
教職実践演習（中・高）	4③④		2							兼1	
道德教育論	3①②		2							兼1	
介護等体験	3①②③④		2							兼1	
小計（19科目）		—	0	0	36	0	0	0	0	0	兼10
合計（165科目）		—	85	184	43	5	5	1	1	0	兼79
卒業要件及び履修方法											
<p>全学共通「学びスキル・リテラシー」から14単位以上、「学際知」から8単位以上、「論理思考表現」から2単位以上、「地域課題」から4単位以上、「キャリア開発」から4単位以上、「ダイバーシティ」から4単位以上、学部共通科目から16単位以上、学科専門基礎科目から38単位以上（農産系、食品系、マネジメント系の科目からそれぞれ4単位以上、かつ、その他科目から26単位以上）、学科専門基幹科目から26単位以上（選択系から10単位以上、かつ、他系科目からそれぞれ8単位以上）を、「卒業論文・地域課題解決研究」から8単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 （履修上限単位数：年間48単位）</p>											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

【教育効果向上の観点から、当該科目と教育課程における他科目の内容や履修の時期等を再度考慮したことによる配当学年・学期の変更】

- ・ 全学共通教育科目「日本国憲法」は、「1・2・3・4③」→「1②」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「アカデミックライティング」は、「1・2③」→「1③」へ変更。
- ・ 「農業経営学Ⅰ」は、「1③」→「2③」へ変更。
- ・ 「畜産学概論」は、「1③」→「2③」へ変更。
- ・ 「基礎物理学」は、「1③」→「1④」へ変更。

【専任教員の退職・後任の補充/教育効果向上のための専任教員の新規採用・科目担当者の追加/その他やむを得ない事情による変更】

- ・ 以下全学共通教育科目は、担当者が同学部他学科（生命環境学科）からの移籍に伴い兼任教員から専任教員に変更。教授として引き続き、当該科目を担当（「教授4 兼7」→「教授5 兼6」）。
- ・ 「大学基礎セミナーⅠ」「大学基礎セミナーⅡ」「アカデミック・ライティング」「クリティカル・シンキング」「プレゼンテーション演習」「地域教養ゼミナールA」「地域教養ゼミナールB」
- ・ 全学共通教育科目「ICTリテラシーⅠ」「ICTリテラシーⅡ」は、指導体制の充実を図るため、兼任教員1名を追加（「兼2」→「兼3」）。
- ・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅰ」「英語総合Ⅱ」「英語総合Ⅲ」「英語総合Ⅳ」は、担当者が同学部他学科（生命環境学科）からの移籍に伴い、兼任教員から専任教員に変更。教授として引き続き、当該科目を担当（「兼4」→「教授1 兼3」）。
- ・ 全学共通教育科目「文学」は、教育効果向上の観点から、科目内容を精査し、オムニバス方式の授業に変更した。これに伴い、各回の内容に相応しい兼任2名を追加した（「兼1」→「兼3」）。
- ・ 全学共通教育科目「歴史学」は、クラス数の減に伴い、担当教員を1名減。教育上の支障はない（「兼2」→「兼1」）。
- ・ 全学共通教育科目「科学史」は、教育効果向上の観点から、科目内容を精査し、オムニバス方式の授業に変更した。これに伴い、各回の内容に相応しい専任教員2名と兼任教員7名の担当者を追加した（「准教授1」→「教授1 准教授2 兼7」）。
- ・ 全学共通教育科目「いのちと科学」は、科目の指導・責任体制等も含め、教育の質やその効果の向上の観点から、各担当教員の取扱領域を精査し、兼任教員を3名減。（「兼6」→「兼3」）なお、教育内容、科目の指導・責任体制（同学部他学科（生命環境学科）所属の教授（兼任教授）が引き継ぐ）等、教育上の支障なし。
- ・ 全学共通教育科目「生活に役立つ力学」は、急遽、兼任准教授 同学部他学科（生命環境学科）1名の退職（他大学への移籍）。当該科目の後任については、当該科目に適合する他の兼任教員（教授2名、准教授1名）に変更（「兼1」→「兼3」）。
- ・ 「微生物学」は、担当者が他学部他学科（地域創生学部地域創生学科）からの移籍に伴い、兼任教員から専任教員に変更（「兼2」→「准教授1」）。
- ・ 「食品衛生学」「食品保存学」は、担当者が他学部他学科（地域創生学部地域創生学科）からの移籍に伴い、兼任教員から専任教員に変更（「兼1」→「准教授1」）。
- ・ 以下科目は、担当者が他学部他学科（地域創生学部地域創生学科）からの移籍に伴い、担当教員を1名追加（「准教授4」→「准教授5」）。
- ・ 「フィールド科学」「フィールド科学実習Ⅱ」「基礎地域資源科学実験」「国際異文化農業体験研修」「科学英語」「卒業論文Ⅰ」「卒業論文Ⅱ」
- ・ 「フィールド科学実習Ⅰ」は、他学部他学科（地域創生学部地域創生学科）からの移籍に伴い、専任教員1名追加。また、同学部他学科（生命環境学科）兼任教員4名も加え指導体制を充実（「准教授4」→「准教授5 兼4」）。
- ・ 「食品加工学」「食品科学実験」は、担当者が他学部他学科（地域創生学部地域創生学科）からの移籍に伴い担当教員を1名追加（「准教授2」→「准教授3」）。
- ・ 「流通システムとイノベーション」は、急遽、准教授1名の退職（他大学への移籍）。後任の科目担当者は教育内容の充実を考慮し、本学科の他の当該科目に適合する教員（教授）に変更（「准教授1」→「教授1」）。
- ・ 「地域課題解決研究Ⅰ・Ⅱ」は、同学部他学科（生命環境学科）からの移籍に伴い、専任教授1名追加。また、複数教員による指導体制をとることで多面的な指導を行う当該科目の趣旨に沿い、同学部他学科（生命環境学科）兼任教員32名を追加（「教授4」→「教授5 兼32」）。本学部届出にあたっての当初の計画時においては、専任教員11名の他、同学部他学科の教員32名の教員配置の構想もあったものの、学内事情もあり、届出書では完成年度までの4年間、他学科兼任教員32名を除き授業運営を実施していく形で提出していた。しかし、学生の教育効果等の向上・充実の観点より、他学科の兼任教員32名の当該科目への配置について、学内の合意形成に至ることができたため、当該科目に兼任32名を配置し、指導体制を充実する。なお、科目の趣旨・目的に変更がでるものではない。
- ・ 「生徒・進路指導論」は、教職課程認定申請時の文部科学省の指摘を受け、当該科目の指導に適合した教員を追加し、オムニバス科目に変更したため、兼任教員1名追加（「兼1」→「兼2」）。

【教育効果の向上の観点からの必修・選択区分の変更】

- ・ 「農業経営学Ⅰ」は、「選択2」→「必修2」へ変更。

【令和3年度】

【教育効果向上の観点から、当該科目と教育課程における他科目の内容や履修の時期等を再度考慮したことによる配当学年・学期の変更】

- ・ 全学共通教育科目「スポーツ実技Ⅰ」は、「1③」→「1①」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「スポーツ実技Ⅱ」は、「2②」→「2③」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「経済学」は、「1・2・3・4④」→「1・2・3・4①」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「家族社会学」は、「1・2・3・4①」→「1・2・3・4④」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「日本国憲法」は、「1・2・3・4③」→「1・2・3・4②」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「食と健康」は、「1・2・3・4④」→「1・2・3・4③」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「地域教養ゼミナールA」は、「3・4①③」→「2・3・4①③」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「地域教養ゼミナールB」は、「3・4②④」→「2・3・4②④」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「地域情報発信論」は、「2・3・4④」→「2・3・4②」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「ボランティア」は、「2・3・4③」→「2・3・4②」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「インターンシップ」は、「2・3・4④」→「2・3・4①②」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「多様性理解（ジェンダー論）」は、「2・3・4①」→「2・3・4③」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「人権論」は、「2・3・4④」→「2・3・4②」へ変更。
- ・ 「微生物学」は、「2④」→「2②」へ変更。
- ・ 「分子生物学」は、「2③」→「2②」へ変更。
- ・ 「機能分析化学」は、「2④」→「2③」へ変更。
- ・ 「環境社会学」は、「2③」→「2④」へ変更。
- ・ 「教育学概論」は、「1③④」→「1④」へ変更。
- ・ 「教職入門」は、「1③④」→「1③」へ変更。
- ・ 「教育社会学」は、「2①②」→「2①」へ変更。
- ・ 「教育心理学」は、「2①②」→「2②」へ変更。
- ・ 「教育相談」は、「3①②」→「3①」へ変更。
- ・ 「教職実践演習（中・高）」は、「4③④」→「4①②③④」へ変更。

【教育効果向上のための科目担当者の追加・変更/その他やむを得ない事情による変更】

（専任教員等の配置欄及び兼任・兼任の配置欄の変更）

- ・ 全学共通教育科目「ICTリテラシーⅠ」「ICTリテラシーⅡ」は、本人事情により、中村兼任講師退職。後任は肖兼任教授を補充し、担当者変更。
- また、全学的な時間割編成に伴い船津兼任准教授から小川兼任教授に担当者変更。船津兼任准教授のクラスは小川兼任教授が担当し科目の指導・責任体制については、小川兼任教授が引き継ぐため教育上支障なし。（「兼3」→「兼2」）
- ・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅰ」「英語総合Ⅱ」「英語総合Ⅲ」「英語総合Ⅳ」は、本人事情により宮奥兼任講師退任、兼任1名減。当該教員のクラスは河村兼任准教授が担当。科目の指導・責任体制等については、引き続き当該科目担当の馬本専任教員が引き継ぐため、教育上の支障なし。（「教授1 兼3」→「教授1 兼2」）
- ・ 全学共通教育科目「科学史」は、指導体制の充実のため、他学科（生命環境学科）の教員1名を追加。（「教授1 准教授2 兼7」→「教授1 准教授2 兼8」）
- ・ 全学共通教育科目「地域情報発信論」は、指導体制の充実のため、兼任教員1名を追加。（「兼3」→「兼4」）
- ・ 全学共通教育科目「キャリアビジョン（ディベロップメント）」は、指導体制充実のため、兼任教員1名を追加。（「兼1」→「兼2」）
- ・ 全学共通教育科目「インターンシップ」は、指導体制充実のため、当該キャンパスキャリアセンター長である専任教員1名を追加。（「兼1」→「准教授1 兼1」）
- ・ 「生物学Ⅰ」は、教育内容の充実の観点から再度科目内容を精査し、より専門性に応じた谷垣講師に担当者変更。（「助教1」→「講師1」）
- ・ 「食品資源フィールド科学演習」は科目新設・追加に伴う担当者の追加。当該科目は届出時において、教育課程やDP及びCPを含めた検討・構想していたが学内事情もあり科目配置ができずいたが、令和3年度をむかえ科目新設・追加が実現。なお、人材養成、教育課程上等の趣旨・目的に変更が出るものではない。（令和3年度「教授2 准教授2 助教1」追加・配置）

【科目の新設・追加】

- ・ 「専門教育科目・学部学科共通科目」区分に「食品資源フィールド科学演習」を新設・追加。

【令和4年度】

【教育効果向上の観点から、当該科目と教育課程における他科目の内容や履修の時期等を再度考慮したことによる配当学期の変更】

- ・全学共通教育科目「ICTリテラシーⅡ」は、「1④」→「1③」へ変更。
- ・全学共通教育科目「法学」は、「1・2・3・4②」→「1・2・3・4③」へ変更。
- ・全学共通教育科目「リーダー論」は、「3・4①」→「3・4①②」へ変更。
- ・全学共通教育科目「人権論」は、「2・3・4②」→「2・3・4④」へ変更。
- ・「食品分析学Ⅰ」は、「2②」→「2③」へ変更。
- ・「基礎食品学Ⅰ」は、「2③」→「2②」へ変更。
- ・「農業経営学Ⅰ」は、「2③」→「2②」へ変更。
- ・「農業マーケティング論」は、「2④」→「2③」へ変更。
- ・「基礎物理学」は、「1④」→「1③」へ変更。
- ・「生理学」は、「2③」→「2①②」へ変更。
- ・「生体機構学」は、「2④」→「2③④」へ変更。
- ・「教育方法学」は、「3③④」→「3③」へ変更。
- ・「教育相談」は、「3①」→「3①②」へ変更。

【専任教員の退職・後任の補充/教育効果向上のための科目担当者の追加/その他やむを得ない事情による変更】

- ・全学共通教育科目「いのちと科学」は、入船兼任教授1名の退職のため兼任教員1名減。（「兼任3」→「兼任2」）。当該科目は、オムニバス方式であり、当該教員の担当部分2回は、引き続き五味兼任教授及び長尾兼任准教授が担うため、教育の質の維持及び授業責任体制等を含めて教育上の支障はない。
- ・全学共通教育科目「生活に役立つ力学」は、「兼任3」→「兼任1」へ変更。当該科目を専門とし、指導に適合した教員を配置するため教育上の支障はない。
- ・「遺伝学」は、入船兼任教員1名の退職のため「兼任2」→「兼任1」へ変更。現在、後任教員を選考中であり、当該科目の配当時期までに決定する予定。
- ・「資源植物学」は、藤田助教1名の准教授への昇格により、専任教員等の配置欄の人数を変更。（「教授1 助教1」→「教授1 准教授1」）
- ・「基礎園芸学」は、藤田助教1名の准教授への昇格により、専任教員等の配置欄の人数を変更。（「教授1 助教1」→「教授1 准教授1」）
- ・「果樹園芸学」は、藤田助教1名の准教授への昇格により、専任教員等の配置欄の人数を変更。（「助教1」→「准教授1」）
- ・「食品資源フィールド科学演習」は藤田助教1名の准教授への昇格により、専任教員等の配置欄の人数を変更。（「教授2 准教授2 助教1」→「教授2 准教授3」）
- ・「生物学実験」は、藤田助教1名の准教授への昇格により、専任教員等の配置欄の人数を変更。（「教授1 講師1 助教1」→「教授1 准教授1 講師1」）
- ・「資源科学実験」は、藤田助教1名の准教授への昇格により、専任教員等の配置欄の人数を変更。（「教授2 准教授1 講師1 助教1」→「教授2 准教授2 講師1」）
- ・「フィールド科学」「フィールド科学実習Ⅰ」「フィールド科学実習Ⅱ」「基礎地域資源科学実験」「国際異文化農業体験研修」「科学英語」「卒業論文Ⅰ」「卒業論文Ⅱ」は、藤田助教1名の准教授への昇格により、専任教員等の配置欄の人数を変更。（「教授4 准教授5 講師1 助教1」→「教授4 准教授6 講師1」）
- ・「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」は、藤田助教1名の准教授への昇格により、専任教員等の配置欄の人数を変更。（「教授5 准教授5 講師1 助教1」→「教授5 准教授6 講師1」）

【誤記の訂正】

- ・兼任・兼任全体合計人数について、令和3年度の報告人数が誤記のため、「兼79→兼78」へ訂正。

【令和5年度】

【教育効果向上の観点から、当該科目と教育課程における他科目の内容や履修の時期等を再度考慮したことによる配当学期の変更】

- ・ 全学共通教育科目「プレゼンテーション演習」は、「2・3・4①③」→「2・3・4①」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「ボランティア」は、「2・3・4②」→「2・3・4①」へ変更。
- ・ 「地域商品開発論」は、「2②」→「2①②」へ変更。

【教育効果向上のための科目担当者の追加・変更/その他やむを得ない事情による変更】

(専任教員等の配置欄及び兼任・兼任の配置欄の変更)

- ・ 全学共通教育科目「ICTリテラシーⅠ」「ICTリテラシーⅡ」は教育内容の充実と実施状況を鑑みて担当教員の見直しを行い、「兼2」→「兼3」に変更する。
- ・ 全学共通教育科目「地域情報発信論」は、兼任教員の退任により（「兼4」→「兼3」）に変更する。授業の質の低下と科目内容に変更がないよう教員を配置しており、教育上の支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「世界の言語と文化」は教育内容の充実と実施状況を鑑みて担当教員の見直しを行い、「兼1」→「教授1 兼2」に変更する。
- ・ 「遺伝学」は教育内容の充実と実施状況を鑑みて担当教員の見直しを行い、「兼1」→「兼2」に変更する。
- ・ 「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」は兼任教員の退職により（「教授5 准教授6 講師1 兼32」→「教授5 准教授6 講師1 兼30」）に変更する。授業の質の低下と科目内容に変更がないよう教員を配置しており、教育上の支障はない。

【誤記の修正】

- ・ 全学共通教育科目「大学基礎セミナーⅠ」「大学基礎セミナーⅡ」「アカデミック・ライティング」「クリティカル・シンキング」「プレゼンテーション演習」「地域教養ゼミナールA」「地域教養ゼミナールB」は藤田助教1名の准教授への昇格により、専任教員等の配置欄の人数を変更。（「教授5 准教授5 講師1 助教1 兼6」→「教授5 准教授6 講師1 兼6」）なお、昇格による変更は令和4年4月のため、令和4年度報告から遡り赤字にて修正。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
38 科目	101 科目	26 科目	165 科目	39 科目 [1]	101 科目 [0]	26 科目 [0]	166 科目 [1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(該当なし)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{165} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 (運動場用地のうち、三原 市からの借用地面積： 9923.12㎡/借用期間：平 成29年4月1日～平成39年 (令和9年3月31日)まで)			
	校舎敷地	136,062㎡	0㎡	0㎡	136,062㎡				
	運動場用地	45,604㎡	0㎡	0㎡	45,604㎡				
	小 計	181,666㎡	0㎡	0㎡	181,666㎡				
	そ の 他	121,857㎡	0㎡	0㎡	121,857㎡				
	合 計	303,523㎡	0㎡	0㎡	303,523㎡				
(2) 校 舎		専 用 86,806㎡ (86,806㎡)	共 用 0㎡ (0㎡)	共用する他の 学校等の専用 0㎡ (0㎡)	計 86,806㎡ (86,806㎡)	大学全体			
(3) 教 室 等		講 義 室 16室	演 習 室 11室	実験実習室 6室	情報処理学習施設 3室 -2室 (補助職員 0人)	語学学習施設 1室 (補助職員 0人)	学生研究室が不足していたため、演習室3 室を学生研究室に変更した。元々使用頻度 の低い演習室を変更したため、教育上の支 障はない。(2) ※記のため修正(5)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 生物資源科学部		室 数 56 58 60	室 0	学生研究室が不足していたため、演習室3 室を学生研究室に変更した。元々使用頻度 の低い演習室を変更したため、教育上の支 障はない。(2) 専任教員2名の定年退職を反映する。 (4)			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕		視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	<p>① 複本等の不要図書等を削除したため、図書 数・視聴覚資料数が減少しているが、教育 上の支障はない。</p> <p>また、届出時において、学術雑誌及び電子 ジャーナルについて、契約件数を記載して いたため、雑誌のタイトル数で記載した。 なお、電子ジャーナルは大学全体で共通 (2)</p> <p>② 複本等の不要図書等を削除したため、図書数 が減少しているが、教育上の支障はない。 学術雑誌(電子ジャーナル含む)と視聴覚 資料は新たに購入したため増加した。 なお、電子ジャーナルは大学全体で共通 (3)</p> <p>③ 複本等の不要図書等を削除したため、図書及 び学術雑誌(電子ジャーナル除く)が減少 しているが、教育上の支障はない。学術雑 誌(電子ジャーナル)は新たに購入したた め増加した。 なお、電子ジャーナルは大学全体で共通 (4)</p> <p>④ 複本等の不要図書等を削除したため、図 書、学術雑誌(電子ジャーナル含む)が減 少しているが、教育上の支障はない。視 覚資料は新たに購入したため増加した。な お、電子ジャーナルは大学全体で共通。 (5)</p>	
			種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕					
	生物資源科学部	175,856 [23,227] 177,178 [23,368] 183,211 [24,123] 187,602 [24,278] 190,971 [26,965] (175,856 [23,227]) -(177,178 [23,368]) -(183,211 [24,123]) -(187,602 [24,278]) -(190,971 [26,965])	4,715 [586] 4,716 [586] 4,825 [606] 3,996 [566] 82 [16] (4,715 [586]) (4,716 [586]) (4,825 [606]) (3,996 [566]) (82 [16])	8,332 [8,327] 8,419 [8,414] 8,370 [8,365] 8,340 [8,335] 13 [11] (8,332 [8,327]) (8,419 [8,414]) (8,370 [8,365]) (8,340 [8,335]) (13 [11])	2,733 2,708 2,815 2,780 2,814 (2,733) (-2,708) (-2,815) (-2,780) (-2,814)	54 0 (54) (0)	0 (0)		
	計	175,856 [23,227] 177,178 [23,368] 183,211 [24,123] 187,602 [24,278] 190,971 [26,965] (175,856 [23,227]) -(177,178 [23,368]) -(183,211 [24,123]) -(187,602 [24,278]) -(190,971 [26,965])	4,715 [586] 4,716 [586] 4,825 [606] 3,996 [566] 82 [16] (4,715 [586]) (4,716 [586]) (4,825 [606]) (3,996 [566]) (82 [16])	8,332 [8,327] 8,419 [8,414] 8,370 [8,365] 8,340 [8,335] 13 [11] (8,332 [8,327]) (8,419 [8,414]) (8,370 [8,365]) (8,340 [8,335]) (13 [11])	2,733 2,708 2,815 2,780 2,814 (2,733) (-2,708) (-2,815) (-2,780) (-2,814)	54 0 (54) (0)	0 (0)		
(6) 図 書 館		面 積 2,147㎡	閱 覧 座 席 数 175	収 納 可 能 冊 数 215,417					
(7) 体 育 館		面 積 3,726㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要 テニスコート4面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	<p>教員1人当たり研究費等については、研究費 予算の減額によるものであるが、教育研究 上の支障はない。共同研究費等につい ては、直近3年(H29-H31)の平均値の減額に よるもの。</p> <p>図書購入費及び設備購入費については、R2 年度予算編成によるもの。(2)</p> <p>教員1人当たり研究費等については、R3年度 研究費予算の減額によるものであるが、教 育研究上の支障はない。共同研究費等につ いては、直近3年(H30-R2)の平均値の減額 によるもの。図書購入費についてはR3年 度予算編成の反映及び、東海大学契約の 電子ジャーナルを東大で開設できなかった ことによる減額。設備購入費につい ては、修繕費は平均値算出期間の変更に伴 い直近3年、施設整備補助金は直近5年の平 均としたため減額(3)</p> <p>教員1人当たり研究費等については、科研費 等を獲得した教員へのインセンティブと して研究促進奨励金を追加配賦すること になったことによる増。共同研究費等につ いては、直近3年(H31-R3)の平均値の減額 によるもの。図書購入費については、R4年 度予算編成を反映したことによる減。設備 購入費については、修繕費(直近3年) 施設整備補助金(直近5年)の平均値の増 額によるもの。(4)</p> <p>学生1人あたり納付金について、第5年 次・第6年次は、学部において該当年次が ないことから、「—」へ修正。(5)</p>
		教員1人当たり研究費等	612千円 700千円	728千円 631千円 612千円 700千円	図書購入費	19,377千円	23,790千円 29,515千円	17,110千円 17,217千円 23,790千円 29,515千円	
	共同研究費等	21,233千円	21,314千円 21,375千円 21,233千円	設備購入費	245,886千円	305,212千円 306,462千円	162,483千円 156,424千円 171,473千円 123,888千円		
	学生1人当たり 納付金	第1年次 818千円	第2年次 536千円	第3年次 536千円	第4年次 536千円	第5年次 536千円	第6年次 536千円	536千円 — 536千円 — 536千円 — 536千円 —	
学生納付金以外の維持方法の概要		広島県からの運営費交付金等							

-
- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	県立広島大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)								
人間文化学部	4	120	0	480	-	-	-	-	-	-	平成17	-						
国際文化学科	4	85	0	340	学士(国際文化学)	-	-	-	-	-	平成17	広島市南区宇品東1-1-71	令和2年4月学生募集停止					
健康科学科	4	35	0	140	学士(健康科学)	-	-	-	-	-	平成17	同上	令和2年4月学生募集停止					
経営情報学部	4	100	0	400	-	-	-	-	-	-	平成17	-						
経営学科	4	60	0	240	学士(経営学)	-	-	-	-	-	平成17	同上	令和2年4月学生募集停止					
経営情報学科	4	40	0	160	学士(経営情報学)	-	-	-	-	-	平成17	同上	令和2年4月学生募集停止					
生命環境学部	4	165	0	660	-	-	-	-	-	-	平成17	-						
生命科学科	4	110	0	440	学士(生命科学)	-	-	-	-	-	平成17	庄原市七塚町5562	令和2年4月学生募集停止					
環境科学科	4	55	0	220	学士(環境科学)	-	-	-	-	-	平成17	同上	令和2年4月学生募集停止					
保健福祉学部	4	190	0	760	-	-	-	-	-	-	平成17	-						
看護学科	4	60	0	240	学士(看護学)	-	-	-	-	-	平成17	三原市学園町1-1	令和3年4月学生募集停止					
理学療法学科	4	30	0	120	学士(理学療法学)	-	-	-	-	-	平成17	同上	令和3年4月学生募集停止					
作業療法学科	4	30	0	120	学士(作業療法学)	-	-	-	-	-	平成17	同上	令和3年4月学生募集停止					
コミュニケーション障害学科	4	30	0	120	学士(コミュニケーション障害学)	-	-	-	-	-	平成17	同上	令和3年4月学生募集停止					
人間福祉学科	4	40	0	160	学士(人間福祉学)	-	-	-	-	-	平成17	同上	令和3年4月学生募集停止					
地域創生学部	4	200	0	800	-	1.08	1.07	1.07	1.07	-	令和2	-						
地域創生学科	4	200	0	800	-	1.08	1.07	1.07	1.07	-	令和2	広島市南区宇品東1-1-71						
地域文化コース	4	75	0	300	学士(地域創生学)	1.08※	1.08※	1.08※	1.07※	-	令和2	同上						
地域産業コース	4	90	0	360	学士(地域創生学)	※	※	※	※	-	令和2	同上						
健康科学コース	4	35	0	140	学士(地域創生学)	1.05	-	1.05	-	-	令和2	同上						
生物資源科学部	4	140	0	560	-	1.02	-	1.01	-	-	令和2	-						
地域資源開発学科	4	40	0	160	学士(地域資源開発学)	1.03	-	1.01	-	-	令和2	庄原市七塚町5562						
生命環境学科	4	100	0	400	学士(生命環境学)	1.02	-	1.00	-	-	令和2	同上						
保健福祉学部	4	190	0	760	-	1.05	1.05	1.01	1.01	-	令和3	-						
保健福祉学科	4	190	0	760	-	1.05	1.05	1.01	1.01	-	令和3	三原市学園町1-1						
看護学コース	4	60	0	240	学士(保健福祉学)	1.03	-	1.01	-	-	令和3	同上						
理学療法学コース	4	30	0	120	学士(保健福祉学)	1.00	-	1.08	-	-	令和3	同上						
作業療法学コース	4	30	0	120	学士(保健福祉学)	1.02	1.01	0.98	0.97	-	令和3	同上						
コミュニケーション障害学科	4	30	0	120	学士(保健福祉学)	1.00	-	0.97	-	-	令和3	同上						
人間福祉学コース	4	40	0	160	学士(保健福祉学)	1.04	-	1.02	-	-	令和3	同上						
大学全体	-	530	0	2120	-	-	-	-	-	-	-	-						

※ 地域文化コース、地域産業コースは一般選抜(後期日程)で経過選択制を導入しており、一括入試の後、2年次後期開始時にコース選択を行うため、2コースまとめた数値を記載している。

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
（様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。）
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	マイケル ホーム ＜令和2年4月＞ Cross-cultural, Language and Academic Development	英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ 英語表現Ⅲ 英語表現Ⅳ
兼任	講師	張 健 (65) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	中谷 隆 ＜令和2年4月＞ 心理学博士	人間関係論
兼任	講師	魚谷 滋己 ＜令和2年4月＞ 工学修士	リーダー論
兼任	講師	五條 小枝子 (65) ＜令和2年4月＞ 文学博士	国語入門演習 社会入門演習
兼任	講師	荒木 英樹 ＜令和2年4月＞ 修士（農学）	作物学
兼任	講師	津田 治敏 ＜令和2年4月＞ 農学博士	食品衛生学 食品保存学
兼任	講師	遠見 修史 ＜令和2年4月＞ 学士（農学）	職業指導 農業科教育法Ⅰ 農業科教育法Ⅱ
兼任	講師	吉田 成章 ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）	教育課程論
兼任	講師	平田 香奈子 ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）	特別支援教育
兼任	講師	大橋 隆広 ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）	総合的な学習の時間の指導法
兼任	講師	宮里 智恵 ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）	道徳教育論

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	マイケル ホーム ＜令和2年4月＞ Cross-cultural, Language and Academic Development	英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ 英語表現Ⅲ 英語表現Ⅳ
兼任	講師	張 健 (65) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	中谷 隆 ＜令和2年4月＞ 心理学博士	人間関係論
兼任	講師	魚谷 滋己 ＜令和2年4月＞ 工学修士	リーダー論
兼任	講師	五條 小枝子 (65) ＜令和2年4月＞ 文学博士	国語入門演習 社会入門演習
兼任	講師	荒木 英樹 ＜令和2年4月＞ 修士（農学）	作物学
兼任	講師	津田 治敏 ＜令和2年4月＞ 農学博士	
兼任	講師	遠見 修史 ＜令和2年4月＞ 学士（農学）	職業指導 農業科教育法Ⅰ 農業科教育法Ⅱ
兼任	講師	吉田 成章 ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）	教育課程論
兼任	講師	平田 香奈子 ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）	特別支援教育
兼任	講師	大橋 隆広 ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）	総合的な学習の時間の指導法
兼任	講師	宮里 智恵 ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）	道徳教育論

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	マイケル ホーム ＜令和2年4月＞ Cross-cultural, Language and Academic Development	英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ 英語表現Ⅲ 英語表現Ⅳ
兼任	講師	張 健 ＜令和2年4月＞ 博士（文学）	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	中谷 隆 ＜令和2年4月＞ 心理学博士	人間関係論
兼任	講師	魚谷 滋己 ＜令和2年4月＞ 工学修士	キャリアビジョン（ディベロップメント） リーダー論
兼任	講師	五條 小枝子 ＜令和2年4月＞ 文学博士	国語入門演習 社会入門演習 地域情報発信論
兼任	講師	荒木 英樹 ＜令和2年4月＞ 修士（農学）	作物学
兼任	講師	津田 治敏 ＜令和2年4月＞ 農学博士	
兼任	講師	遠見 修史 ＜令和2年4月＞ 学士（農学）	職業指導 農業科教育法Ⅰ 農業科教育法Ⅱ
兼任	講師	吉田 成章 ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）	教育課程論
兼任	講師	平田 香奈子 ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）	特別支援教育
兼任	講師	大橋 隆広 ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）	総合的な学習の時間の指導法
兼任	講師	宮里 智恵 ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）	道徳教育論

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	マイケル ホーム ＜令和2年4月＞ Cross-cultural, Language and Academic Development	英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ 英語表現Ⅲ 英語表現Ⅳ
兼任	講師	張 健 ＜令和2年4月＞ 博士（文学）	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	中谷 隆 ＜令和2年4月＞ 心理学博士	人間関係論
兼任	講師	魚谷 滋己 ＜令和2年4月＞ 工学修士	キャリアビジョン（ディベロップメント） リーダー論
兼任	講師	五條 小枝子 ＜令和2年4月＞ 文学博士	国語入門演習
兼任	講師	荒木 英樹 ＜令和2年4月＞ 修士（農学）	作物学
兼任	講師	津田 治敏 ＜令和2年4月＞ 農学博士	
兼任	講師	遠見 修史 ＜令和2年4月＞ 学士（農学）	職業指導 農業科教育法Ⅰ 農業科教育法Ⅱ
兼任	講師	吉田 成章 ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）	教育課程論
兼任	講師	平田 香奈子 ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）	特別支援教育
兼任	講師	大橋 隆広 ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）	
兼任	講師	宮里 智恵 ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）	道徳教育論

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	マイケル ホーム ＜令和2年4月＞ Cross-cultural, Language and Academic Development	英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ 英語表現Ⅲ 英語表現Ⅳ
兼任	講師	張 健 ＜令和2年4月＞ 博士（文学）	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	中谷 隆 ＜令和2年4月＞ 心理学博士	
兼任	講師	魚谷 滋己 ＜令和2年4月＞ 工学修士	キャリアビジョン（ディベロップメント） リーダー論
兼任	講師	五條 小枝子 ＜令和2年4月＞ 文学博士	国語入門演習
兼任	講師	荒木 英樹 ＜令和2年4月＞ 修士（農学）	作物学
兼任	講師	津田 治敏 ＜令和2年4月＞ 農学博士	
兼任	講師	遠見 修史 ＜令和2年4月＞ 学士（農学）	職業指導 農業科教育法Ⅰ 農業科教育法Ⅱ
兼任	講師	吉田 成章 ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）	教育課程論
兼任	講師	平田 香奈子 ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）	特別支援教育
兼任	講師	大橋 隆広 ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）	
兼任	講師	宮里 智恵 ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）	道徳教育論

【認可時又は届出時】			【令和2年度】			【令和3年度】			【令和4年度】			【令和5年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	深澤 悦子 <令和2年4月> 修士(教育学) 教育方法学	兼任	講師	深澤 悦子 <令和2年4月> 修士(教育学) 教育方法学	兼任	講師	深澤 悦子 <令和2年4月> 修士(教育学) 教育方法学	兼任	講師	深澤 悦子 <令和2年4月> 修士(教育学) 教育方法学	兼任	講師	深澤 悦子 <令和2年4月> 修士(教育学) 教育方法学
			兼任	講師	金 根五 <令和2年4月> 博士(学術) 韓国語 I 韓国語 II	兼任	講師	金 根五 <令和2年4月> 博士(学術) 韓国語 I 韓国語 II	兼任	講師	金 根五 <令和2年4月> 博士(学術) 韓国語 I 韓国語 II	兼任	講師	金 根五 <令和2年4月> 博士(学術) 韓国語 I 韓国語 II
			兼任	講師	吉野 浩生 <令和2年4月> 博士(学術) 物理入門演習	兼任	講師	吉野 浩生 <令和2年4月> 博士(学術) 物理入門演習	兼任	講師	西手 満昭 <令和4年4月> 博士(経済学) 経済学	兼任	講師	西手 満昭 <令和4年4月> 博士(経済学) 経済学
			兼任	講師	山田 浩之 <令和2年4月> 博士(教育学) 特別活動論	兼任	講師	山田 浩之 <令和2年4月> 博士(教育学) 特別活動論	兼任	講師	山田 浩之 <令和2年4月> 博士(教育学) 特別活動論	兼任	講師	山田 浩之 <令和2年4月> 博士(教育学) 特別活動論
			兼任	講師	中條 和光 <令和2年4月> 博士(心理学) 生徒・進路指導論	兼任	講師	中條 和光 <令和2年4月> 博士(心理学) 生徒・進路指導論	兼任	講師	中條 和光 <令和2年4月> 博士(心理学) 生徒・進路指導論	兼任	講師	中條 和光 <令和2年4月> 博士(心理学) 生徒・進路指導論
									兼任	講師	山田 憲嗣 <令和4年4月> 博士(電気工学) 生活に役立つ力学			
									兼任	講師	林原 慎 <令和4年4月> 博士(学術) 総合的な学習の時間の指導法	兼任	講師	林原 慎 <令和4年4月> 博士(学術) 総合的な学習の時間の指導法

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(研)、実(研)、実(研)、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

【退職等による専任教員の就任辞退及び科目の後任担当者への科目の追加】

- 堀田学准教授、届出書提出後に急遽他大学への移籍が決定したため、就任辞退。科目の後任は下記の通り。
 - ・朴壽永教授（令和2年4月1日新規採用）「流通システムとイノベーション」
 - ・馬淵准教授（令和2年4月1日他学部から転入）
「大学基礎セミナーⅠ」「大学基礎セミナーⅡ」「アカデミック・ライティング」「クリティカル・シンキング」「プレゼンテーション演習」「地域教養ゼミナールA」「地域教養ゼミナールB」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」
 - ・村田和賀代准教授「食品流通学」

【退職等による兼任・兼任教員の就任辞退及び後任担当者の科目の変更】

- 崎田省吾兼准教授、届出書提出後に急遽他大学への移籍が決定したため、就任辞退。科目の後任は下記の通り。

- ・岩田貴樹兼准教授「基礎数学」
- ・青柳充兼准教授「生物反応速度論」
- ・伊集院睦雄兼准教授「生活に役立つ力学」
- ・金井秀作兼准教授「生活に役立つ力学」
- ・西川洋行兼准教授「生活に役立つ力学」
- ・吉野浩生兼任講師「物理入門演習」

【職位の昇格】

- ・吉川成美が昇任人事により、兼准教授→兼教授へ変更。
- ・上水流久彦が昇任人事により、兼准教授→兼教授へ変更。
- ・中石ゆうこが昇任人事により、兼助教→兼准教授へ変更。

【本学同学部他学科（生命環境学科）からの移籍】

- ・馬本勉教授が同学部他学科（生命環境学科）から本学科へ移籍したため、兼准教授から専任教員に変更。専任教員として引き続きこれまでと同様の科目に加え、以下の担当科目を追加。
「科学史」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」

【本学他学部他学科（地域創生学部地域創生学科）からの移籍】

- ・馬淵良大准教授が他学部他学科（地域創生学部地域創生学科）から本学科へ移籍したため、専任教員に変更。以下の担当科目を追加。
「大学基礎セミナーⅠ」「大学基礎セミナーⅡ」「アカデミック・ライティング」「クリティカル・シンキング」「プレゼンテーション演習」「地域教養ゼミナールA」「地域教養ゼミナールB」「科学英語」「フィールド科学」「フィールド科学実習Ⅰ」「フィールド科学実習Ⅱ」「国際異文化農業体験研修」「基礎地域資源科学実験」「微生物学」「食品衛生学」「食品加工工学」「食品保存学」「食品科学実験」「卒業論文Ⅰ」「卒業論文Ⅱ」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」

【教育内容充実のための担当科目の追加】

- ・吉野智之准教授に「科学史」を追加。
- ・奥尚兼准教授に「フィールド科学実習Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・西村和之兼准教授に「フィールド科学実習Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・山下泰尚兼准教授に「フィールド科学実習Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・柳下真由子兼助教に「フィールド科学実習Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・三吉好治兼准教授に「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・齋藤靖和兼准教授に「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・入船浩平兼准教授に「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・福永健二兼准教授に「科学史」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・五味正志兼准教授に「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・八木俊樹兼准教授に「科学史」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・稲垣匡子兼准教授に「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・大竹才人兼准教授に「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・坪田雄二兼准教授に「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・伊原伸治兼准教授に「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・米村正一郎兼准教授に「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・岩田貴樹兼准教授に「科学史」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・長尾則男兼准教授に「科学史」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・橋本温兼准教授に「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・阿部靖之兼准教授に「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・小林謙介兼准教授に「科学史」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・西本潤兼准教授に「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・青柳充兼准教授に「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・内藤佳奈子兼准教授に「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・大草輝政兼准教授に「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・C・ティオン兼准教授に「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・楠堀誠司兼准教授に「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・河村和也兼准教授に「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・藤井宣彰兼准教授に「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・菅裕兼准教授に「科学史」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・有馬寿英兼助教に「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・松崎秀紀兼助教に「科学史」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」を追加。
- ・小川仁士兼准教授に「ICTリテラシーⅠ」「ICTリテラシーⅡ」を追加。
- ・西本黎子兼准教授に「文学」を追加。
- ・柳川順子兼准教授に「文学」を追加。
- ・中條和光兼任講師に「生徒・進路指導論」を追加。

【教育内容充実のための担当者の変更】

- ・北台靖彦兼准教授、加藤洋司兼准教授、岡田玄也兼助教の「いのちと科学」は、オムニバス科目における取扱領域の精査や教育効果の向上のため、同学部他学科（生命環境学科）の兼任教員3名（入船浩平兼准教授、五味正志兼准教授、長尾則男兼准教授）のみへ変更。
- ・鄭過澤兼准教授の「韓国語Ⅰ」「韓国語Ⅱ」を金根五兼任講師へ変更。
- ・岡本弘道兼准教授、小平直行兼准教授の「歴史学」は、クラス数の減に伴い、小平直行兼准教授が担当者から外れ、岡本弘道兼准教授のみの担当に変更。
- ・津田治敏兼任講師の「食品衛生学」「食品保存学」を馬淵良大准教授へ変更。
- ・藤井宣彰兼准教授の「特別活動論」は、教職課程認定申請時の文部科学省の指摘を受け、科目の内容と教員の専門性を鑑み、より当該科目の指導に適合した教員である山田浩之兼任講師へ変更。
- ・阪口利文兼准教授及び有馬寿英兼助教の「微生物学」は、馬淵良大准教授へ変更。

【届出時における担当教員表における誤記】

- ・八木俊樹兼准教授の「分子生物学」の表記は誤記。正しくは当該科目の担当教員は達家雅明兼准教授のみ。届出書の担当教員表のみ誤記。
- ・稲垣匡子兼准教授の「細胞生物学」の表記は誤記。正しくは当該科目の担当教員は達家雅明兼准教授のみ。届出書の担当教員表のみ誤記。

【平成3年6月の学位規則改正を踏まえた届出時における学位の表記の訂正】

- ・「5教員組織の状況（1）一①担当教員表」のとおり46名訂正。

【令和3年度】

【やむを得ない事情による兼任・兼任教員の退職及び後任担当者の追加】
・中村悟兼担講師、本人のやむを得ない事情により退職。科目の後任は下記の通り。
 肖業貴兼担教授（追加・補充）「ICTリテラシーⅠ」、「ICTリテラシーⅡ」。
・宮奥正道兼任講師、本人のやむを得ない事情により退任。科目の後任は下記の通り。
 当該科目担当の馬本勉専任教員の責任指導体制のもと、当該教員の担当クラスを当該科目担当の河村兼担准教授が担当「英語総合Ⅰ」「英語総合Ⅱ」「英語総合Ⅲ」「英語総合Ⅳ」。
・船津誠也兼担准教授、全学的な時間割編成上のやむを得ない事情から「ICTリテラシーⅠ」、「ICTリテラシーⅡ」のクラスを当該科目の指導体制に責任を持つ小川仁士兼担教授にクラス担当を変更。教育上の支障はない。
・岩田貴樹兼担准教授、全学的な時間割編成上のやむを得ない事情から「基礎数学」を後任担当教員の専門性に応じ、埼玉県吾吾兼任講師に担当者変更（岡山兼任講師は当該科目の前任者）。担当者変更後も岩田兼担准教授が岡山兼任講師との連携、指導サポートの実施のため、教育上の支障はない。

【教育内容充実のための担当者の変更】
・藤田景子助教、「生物学Ⅰ」は、より専門性に定じた谷垣悠介講師へ変更。

【教育内容充実のための担当科目の追加】
・科目の新設・追記に伴い、萩田信二郎教授に「食品資源フィールド科学演習」を追加。
・科目の新設・追記に伴い、甲村浩之教授に「食品資源フィールド科学演習」を追加。
・科目の新設・追記に伴い、村田和賀代准教授に「食品資源フィールド科学演習」を追加。
・科目の新設・追記に伴い、吉野智之准教授に「食品資源フィールド科学演習」を追加。また、「インターンシップ」を追加。
・科目の新設・追記に伴い、藤田景子助教に「食品資源フィールド科学演習」を追加。
・米村正一郎兼担教授に「科学史」を追加。
・五條小枝子兼任講師に「地域情報発信論」を追加。
・魚谷滋己兼任講師に「キャリアデザイン（ディベロップメント）」を追加。

【職位の昇格】
・菅裕が昇任人事により、兼担准教授→兼担教授へ変更。
・橋本温が昇任人事により、兼担准教授→兼担教授へ変更。
・岡田高嘉が昇任人事により、兼担准教授→兼担教授へ変更。

【誤記の修正】
届出時における設置計画の教員組織は教授4（4）、准教授5（5）、講師1（1）、助教1（1）、計11（11）。しかし、昨年度報告の「5教員組織の状況（2）-②専任教員数【大学】」において「設置時の計画」欄の下段（ ）内に教授5、計12と記載し、誤記。正しくは、設置計画の教授4、計11。

【令和4年度】

【定年等による教員の退職及び科目の後任担当者への科目の変更及び追加等】

○入船浩平兼担教授は定年により、退職。後任は以下のとおり。
・「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」は、学部教員全員が後任を担うことになっており、教育上の支障はない。
・「いのちと科学」は、当該科目を担当する他教員である五味正志兼担教授、長尾剛男兼担教授が当該教員の担当回をあわせて担当することが教育効果向上に資すると判断し、担当者を変更する。
・「生物入門演習」は、科目の内容と教員の専門性を鑑み、当該科目の指導に適合した伊原伸治兼担教授が後任を担うことになっており、教育上の支障はない。
・「遺伝学」は、後任教員を選考中であり、当該科目の指導に適合した教員を記当期までに決定する予定。なお、福永健二兼担教授は引き続き当該科目を担当する。
○遠家雅明兼担教授は定年により、退職。後任は以下のとおり。
・「分子生物学」は、科目の内容と教員の専門性を鑑み、当該科目の指導に適合した八木俊樹兼担教授、松崎秀紀兼担助教が後任を担うことになっており、教育上の支障はない。
・「細胞生物学」は、科目の内容と教員の専門性を鑑み、当該科目の指導に適合した稲垣匡子兼担教授が後任を担うことになっており、教育上の支障はない。

【教育内容充実のための担当者の変更】
・五條小枝子兼任講師の「地域情報発信論」、
「社会入門演習」を伊藤俊兼担助教へ変更。
・吉野浩生兼任講師の「物理入門演習」を米村正一郎兼担教授へ変更。
・西川洋行兼担教授、伊集院隆雄兼担教授、金井秀作兼担教授の「生活に役立つ力学」は当該科目を専門とし、指導に適合した教員である山田憲嗣兼任講師へ変更。

【やむを得ない事情による兼任・兼任教員の退職及び後任担当者の追加】
・高橋隆二兼担教授、本人のやむを得ない事情により退任。「経済学」は当該科目を専門とし、指導に適合した教員である西手満昭兼任講師へ変更。
・大橋隆広兼任講師、本人のやむを得ない事情により退任。「総合的な学習の時間の指導法」は当該科目を専門とし、指導に適合した教員である林原慎兼任講師へ変更。

【職位の昇格】
・藤田景子が昇任人事により、専任助教→専任准教授へ変更。
・小川俊輔が昇任人事により、兼担准教授→兼担教授へ変更。
・河村和也が昇任人事により、兼担准教授→兼担教授へ変更。

【保有学位の更新】
・手島洋兼担講師、博士号取得により、修士（社会学）→博士（社会学）へ変更。

【誤記の訂正】
・令和3年度に昇任した橋本温兼担教授、菅裕兼担教授、岡田高嘉兼担教授の3名について、就任年月を令和3年度に遡り「令和3年4月」に訂正。

【令和5年度】

【定年等による教員の退職及び科目の後任担当者への科目の変更及び追加等】

・遠藤 伸治兼担教授は定年退職により、「文学」は、引き続き担当する西本 寮子兼担教授、柳川順子兼担教授に加え、新規採用の福田 涼兼担講師が後任を担うことになっており、教育上の支障はない。

【教育内容充実のための担当者の変更】
・小川 仁士兼担教授、肖 業貴兼担教授の「ICTリテラシーⅠ」は肖業貴兼担教授は引き続き担当し、小川兼担教授の代わりに当該科目を専門とし、指導に適合した教員である小河 智佳子兼任講師、広田 とも兼任講師へ変更。
・小川 仁士兼担教授、肖 業貴兼担教授の「ICTリテラシーⅡ」は小川兼担教授は引き続き担当し、肖業貴兼担教授の代わりに当該科目を専門とし、指導に適合した教員である小河 智佳子兼任講師、広田 とも兼任講師へ変更。
・山田 憲嗣兼任講師の「生活に役立つ力学」を吉野 浩生兼任講師へ変更。
・中谷 隆兼任講師の「人間関係論」を勝見 吉彰兼担教授へ変更。
・伊原 伸治兼担教授の「生物入門演習」を金岡 雅浩兼担教授へ変更。
・速見 修史兼任講師の「職業指導」「農業科教育法Ⅰ」「農業科教育法Ⅱ」を牧原 弘造兼任講師へ変更。

【やむを得ない事情による兼任・兼任教員の退職及び後任担当者の追加】
・福田 匡子兼担教授、本人のやむを得ない事情により退任。「免疫学」は、当該科目の後任担当者を調整中。当該科目の指導に適合した専任教員を選考する予定。「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」は学部専任教員全員が後任を担うことになっており、教育上の支障はない。
・伊藤 俊兼担助教、本人のやむを得ない事情により退任。「地域情報発信論」は、当該科目を担当する他教員である広谷 大助兼担准教授、藤井 宣彰兼担准教授、吉田 倫子兼担講師が当該教員の担当回をあわせて担当することが教育効果向上に資すると判断し、担当者へ変更する。「社会入門演習」は当該科目を専門とし、指導に適合した教員である岡田 高嘉兼担教授へ変更。
・日高 陵好兼担教授、本人のやむを得ない事情により退任。「ライフデザイン」は、当該科目を専門とし、指導に適合した教員である田中 聡子兼担教授へ変更。

【教育内容充実のための担当科目等の追加】
・馬本 勉教授に「世界の言語と文化」を追加。
・上水流 久彦兼担教授に「世界の言語と文化」を追加。
・金岡 雅浩兼担教授に「生物入門演習」「遺伝学」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」の担当者として追加。

(注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
4	5	1	1	11	0	5	6	1	0	12	0
(4)	(5)	(1)	(1)	(11)	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
5	6	1	0	12	0	5	6	1	0	12	0
(1)	(1)	(0)	(Δ1)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(Δ1)	(1)	(0)

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合は、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{11} = \boxed{109.09} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	堀田 学	R2.2	必修	大学基礎セミナーⅠ	①	R2.2 他大学へ転職のため就任辞退（2）						
				必修	大学基礎セミナーⅡ	①							
				必修	アカデミック・ライティング	①							
				選択	クリティカルシンキング	①							
				選択	プレゼンテーション演習	①							
				選択	地域教養ゼミナールA	①							
				選択	地域教養ゼミナールB	①							
				選択	食品流通学	①							
				選択	流通システムとイノベーション	①							
				必修	地域課題解決研究Ⅰ	①							
必修	地域課題解決研究Ⅱ	①											
合計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	5	科目	必修	5	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	6	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	11	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし											
合計（F）					後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1 人	必修	5 科目	必修	5 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	6 科目	選択	6 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	11 科目	計	11 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{1}{11} = \boxed{9.09} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退教員の担当予定科目の後任補充は、すべて専任教員で対応しており、教育上の支障は発生しない。また、学生に対しては、オリエンテーション及び学内の情報ツールを通じて指導体制を周知した。(2)

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成31年)	該当なし	履行中	
認 可 時 (平成31年)	該当なし	履行中	
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和2年)	該当なし	履行済	
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年)	該当なし	履行済	
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年)	該当なし	履行済	
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年)		履行中	
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和6年)		履行中	

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<生物資源科学部 地域資源開発学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	<p>【新型コロナウイルス感染症拡大を受けた特例的な対応】 ○専門教育科目「国際異文化農業体験研修」について、昨年度令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により海外渡航を見合わせ、県内企業と協働して国内研修に切り替え対応した。なお、いずれの対応についても持続可能な農業の生産技術や経営、グローバルな視点での農業生産や食品加工技術を学ぶ本科目の授業目標及び内容については変更なし。</p> <p>○令和5年度については、感染症対策を十分に講じた上で対面授業を原則としている。ただし、教育効果の観点から、大学設置基準等の範囲内でオンライン授業も一部導入するなどし、学修者本位の教育活動を実施している。また、基礎疾患等により登校できない学生に対しては、授業のライブ配信や録画配信、課題提供等により、学修の機会を確実に提供している。</p> <p>【基本計画書に記載の英語名称の誤記修正】 「基本計画書」内の「新設学部等の概要」「新設学部等の名称」に記載した英語表記を次のとおり修正する。 地域資源開発学科 修正前：Department of Local Resources 修正後：Department of Development of Local Resources なお、設置の趣旨を記載した書類は正しい表記のため修正不要。基本計画書のみ誤記として修正する。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>県立広島大学開設時から、県立広島大学総合教育センターが教育改革の企画及び総括、教育制度の充実等の業務を所掌し、FD研修会や授業評価アンケートを実施し、教職員の資質向上や教育改善を行なってきた。令和2年4月からの学部等再編に合わせて、教育改善の戦略や企画を行う「高等教育推進機構」を設置し、これまでの総合教育センターを「大学教育実践センター」に改称し、教育活動を実践する組織として改組し、これまでより高度かつ迅速に教育改革を推進する体制を整えた。</p> <p>県立広島大学大学教育実践センター管理運営規程に基づき、「教育推進部門」、「入試・高大接続委員会」、「学生支援部門」、「全学共通教育部門」、「研修部門」を設置し、高等教育の推進、教育に係る評価と改善（授業評価アンケートの実施と分析）、学生の教育・生活支援、全学共通教育の企画・実施、教職員研修の企画・実施を行っている。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、委員会や研修会は、オンライン会議（Microsoft TeamsやZoom等）で開催している。</p> <p>特に、「研修部門」では、平成26年度に採択された大学教育再生加速プログラムを引継ぎ、「生涯学び続けるアクティブラーナー養成」を目指して、全学的研修体系を確立し、それに基づいて研修を行っている。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>○ 高等教育推進機構運営委員会（教育・学生支援担当副学長兼高等教育推進機構長含む教員10名、職員4名） 高等教育推進機構運営委員会を12回開催し、学修成果を可視化するためのルーブリックや外部評価テストの導入と結果分析を行った（年間12回）。</p> <p>○ 研修部門会議（教員4名、職員5名、オブザーバーとして学長補佐兼大学教育実践センター長含む教員2名） 年4回開催し、次のことを審議した。 ア 県立広島大学アクティブラーナー養成研修の実施計画及び実施 イ 授業ピアレビューの実施について</p>

- 委員会の審議事項等
- 高等教育教育推進機構運営委員会（12回）
（審議事項等）
 - ・学修成果の把握と学生へのフィードバックについて
 - ・新学習指導要領に対応した令和7年度入試について 等
- 大学教育実践センター 研修部門会議（4回）
（協議事項）
 - ・県立広島大学アクティブ・ラーナー育成研修体系に基づく令和4年度研修の実施結果
 - ・令和5年度ALer育成研修の実施計画について 等

② 実施状況

a 実施内容

- ・大学教職員に期待される役割と教育の今後【R4. 6. 20】136人（教員100人，職員36人）
- ・個別最適な学修方法・授業改善に向けた教育データの利活用【R4. 8. 8】109人（教員84人，職員25人）
- ・採用3年以内教員を対象とした基本的教育技法【R4. 9. 15】教員3人
- ・教育課程の検証【R4. 12. 1】82人（教員76人，職員6人）
- ・教・職・学協働の理解と実践【R4. 12. 8】42人（教員20人，職員12人，学生10人）
- ・授業ピアレビュー【前期：R4. 5. 2～R4. 8. 1，後期R4. 9. 26～R5. 1. 30】（授業公開の対象は員デマンド授業以外）

b 実施方法

オンライン開催（授業ピアレビューを除く。）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

②aのとおり

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・受講後にアンケートを実施し，出された意見を踏まえ随時改善している

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・クォーター期ごとに全科目（学外実習科目を除く）実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

大学ホームページで公表している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

生物資源科学部では、「農」や「食」、「生命」、「環境」に係る専門教育を通じて、持続可能な社会の構築と良好な生存環境の保全に関する専門知識・技術を習得させるため、最新の研究情報を取り込んだ「講義」や実践的な「実習」を通じて、高度な専門性を身に付けられる教育プログラムを提供し、地域社会の発展に貢献できる幅広い見識を持った職業人の育成を行う。また、地域の課題を自ら見つけ、解決に向けて主体的に行動できる実践力や、生涯学び続ける自律的な学修者として、地域創生に貢献できる「課題探究型地域創生人材」を育成することを目的としている。

地域社会の課題を探究するローカルな視点と地球規模の課題を探究するグローバルな視点を併せ持ち、地域社会の活性化に貢献するために必要となる知識と技能を効率的かつ段階的に修得できることを目指し、全学共通（基礎基盤・教養）教育プログラムと、専門教育を受ける上での基礎的知識、技能を身に付けるための学部共通科目である専門教育プログラムを体系的に配置し、共通部分となる理系分野の基礎的な内容から、それぞれの専門分野の専門的・実践的な内容を段階的に学修できるよう体系的なカリキュラムを組んでいる。

授業科目は、集中的な授業の実施によって教育効果を向上させることを目的とした四学期制で行い、前期を「前期前半（第1学期）」と「前期後半（第2学期）」、後期を「後期前半（第3学期）」と「後期後半（第4学期）」に分け、一部、二学期制で行う授業と平行した弾力的な時間割運用を実施することとしている。

オリエンテーションは、新型コロナウイルス感染拡大に十分配慮しながら対面で実施し、学生に対する教育の支障がないよう、シラバスを再検討した上で、カリキュラムマップ等の説明を行うとともに、学科単位でそれぞれの履修モデル等に基づいた履修指導を実施した。

学生の受け入れ状況に関しては、学部設置により本学で初めて導入した地域資源開発学科の総合型選抜について、4年目となる令和5年度入学者数は8名であった。

管理運営体制は、設置初年度の令和2年度から戦略・企画機能と実施機能とに分離し、各機能の高度化・迅速化を図ることを目的に、総合教育センターを改組し「高等教育推進機構」を新たに設置、総合教育センターを「大学教育実践センター」とすることで教育改革推進体制の強化にあたっている。

4年目となる令和5年度は、4年間の学びの集大成として科目区分「卒業論文・卒業研究」の各科目に取り組むとともに、引き続き「課題探究型地域創生人材」の育成に向けた教育プログラムの運営を円滑に実施し、「課題探究型地域創生人材

ーブリック」、「アクティブ・ラーナー自己評価ルーブリック」、「学生による授業評価アンケート」等の集計結果に基づき教学IRシステムも活用して検証していくこととした。

以上のように、学生に対して支障のないよう対応し、設置の趣旨・目的が実現できるよう全学を挙げて、設置計画の履行を着実に進めているところである。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 本学では、中期目標期間に合わせて6年周期として認証評価を受けることとしており、前回の認証評価時期である平成29年度の6月末に、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に対して「大学機関別認証評価自己評価書」及び「選択評価事項にかかる自己評価書」を提出し、「大学機関別評価評価報告書」及び「認定証」と併せて本学ホームページに同内容を掲載した。

b 公表方法

- ・ 自己点検・評価報告書を刊行し、教職員及び学外委員に各一部ずつ配付。
- ・ 本学ホームページ上に公開済 <https://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/ninshou.html>

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・ 令和5年度に評価機関（一般財団法人大学教育質保証・評価センター）の評価を受けるべく、学内で検討中。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。